XV-MK550 DVDプレーヤー 取扱説明書

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
69 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	東京 ☎(03) 5684-9311 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎(06) 6765-4161 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ http://www.jvc-victor.co.jp/

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒242-8514 神奈川県大和市下鶴間1644 ☎ダイヤルイン 046-278-1743

1000UBNJEM

Victor "HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

DVDプレーヤー

型名 XV-MK550

DVD Player XV-MK550

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 4 ～ 7 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0521-020A

もくじ

はじめにお読みください ページ

予備知識 ページ

準備する ページ

とりあえず、カンタン操作 ページ

いろいろな再生のしかた ページ

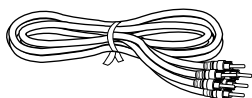
カラオケを楽しむ ページ

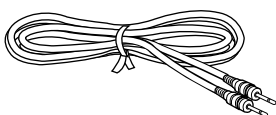
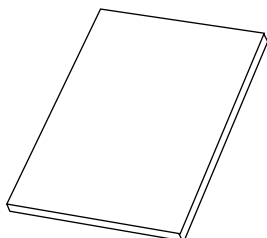
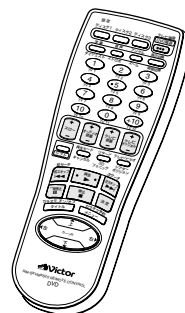
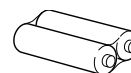
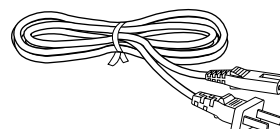
初期設定をする ページ

ご参考に ページ

付属品

本機には、次の付属品が同梱されています。お使いになる前にお確かめください。

- オーディオ / ビデオコード（1 本）

- S- ビデオコード（1 本）

- AV コンピュリンクコード（1 本）

- 取扱説明書（1 冊）

- リモコン : RM-SXVMK550（1 個）

- 単 3 形乾電池（2 本）…動作確認用

- 電源コード（1 本）

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

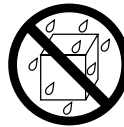
注意をうながす記号

一般的注意

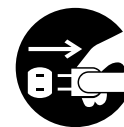
感電

行為を禁止する記号

禁止

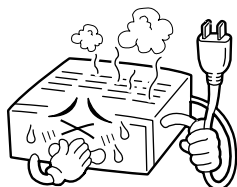
分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

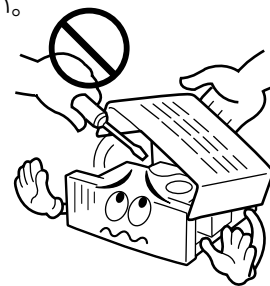
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

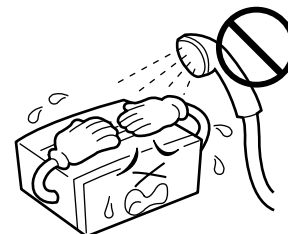
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

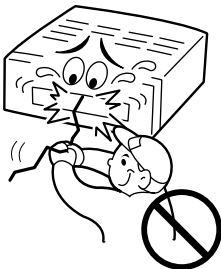
火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

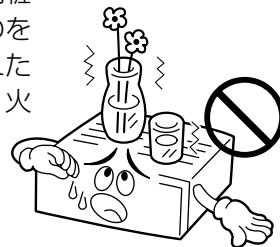
分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

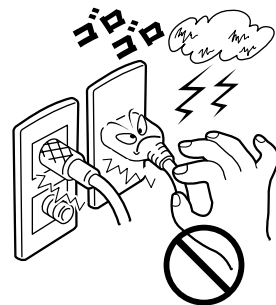
通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水の入ったものを置かない。

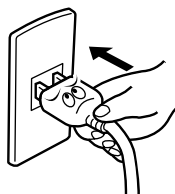
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

交流100V以外の電源電圧で使用しない。

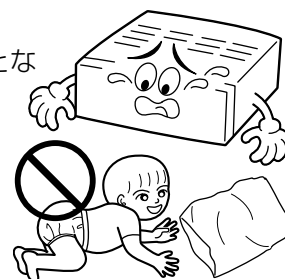
火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

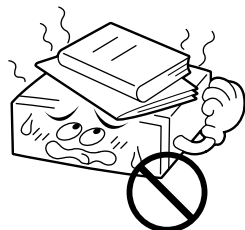
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 専用のラック以外の本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10㎝以上離す

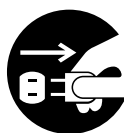
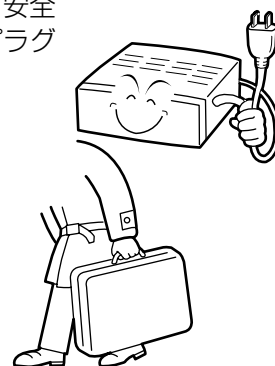
置き場に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

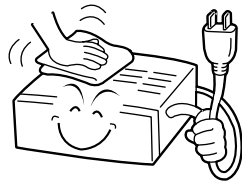
電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

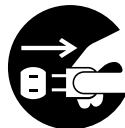
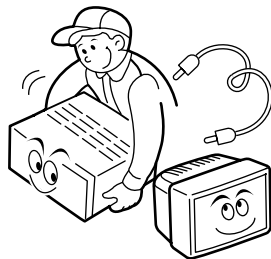
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

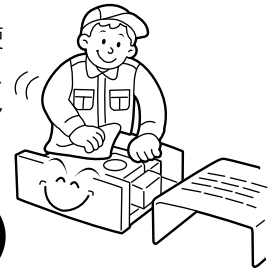
電源プラグを抜く

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長時間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

設置場所

本機は5℃から35℃までの温度で使用できるように設計されています。これを超える温度の環境で使用すると、誤動作したり、故障の原因となります。特に、次のような環境は避けてください。

- 直射日光が当たるところ
- アンプの上など高温になるところ

テレビやラジオの受信状態が悪くなったら…

- 本機を遠ざけてください。本機は、テレビやラジオなど電波を受信するものの近くに設置すると、受信に影響を及ぼすことがあります。

本機の移動

- 寒いところから急に暖かいところへ移動すると、移動した直後正常に働かないことがあります。これは内部に露が発生したためです。電源を「入」にしたまま約 1 〜 2 時間すれば正常な状態になります。
- 本機を移動するときは、ディスクを取り出しておいてください。入れたまま移動すると、ディスクが本機の中へ入り込み、取り出せなくなったり、故障の原因となります。

壊れたディスクや特殊形状のディスクは入れないで

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク（シェイプ CD など）は本機に入れないでください。故障の原因となることがあります。

外装の清掃

- 本機のカバーなど外装の清掃には、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。「くもり」「変色」の原因となります。

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 DOLBY DIGITAL 、ドルビー、Dolby、 Pro Logic およびダブル D 記号 DD は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
  非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts DIGITAL OUT 、DTS および DTS Digital Surround は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
  著作権 1996 年デジタルシアターシステムズ社。不許複製。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解 、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVD ロゴは商標です。

本取扱説明書について

本取扱説明書では、以下のように機能操作の説明をしています。

連続写真のように表示する[ストロボ]

DVDビデオ　ビデオCD

機能を使えるディスクのタイプをシンボル表示しています。

指しているボタンが、以下の説明中のこの手順で使われます。
なお、本体に同じ働きのボタンがある場合は、そちらを使うこともできます。

■ 再生中に

操作の手順番号です。

1 連続写真のように表示したいところで ❚❚ 一時停止ボタンを押す

とくに明記していないかぎりリモコンのボタン名です。

2 シフトボタンを押したまま音声／ストロボボタンを押す

連続した９つの静止画像が画面に現れ、リアルタイムで先に進みます。これをストロボ再生といいます。ただし音声は出ません。

ちょっとひと言

・ストロボ再生中に❚❚ 一時停止ボタンを押すと、一時停止します。その状態で❚❚ 一時停止ボタンを押すと、押すごとに１画像ずつ変わります。► 再生ボタンを押すと９分割表示でストロボ再生をくり返します。

補足説明、別の操作方法など

・ **ストロボ機能を解除するには**
シフトボタンを押したまま音声／ストロボボタンを押します。

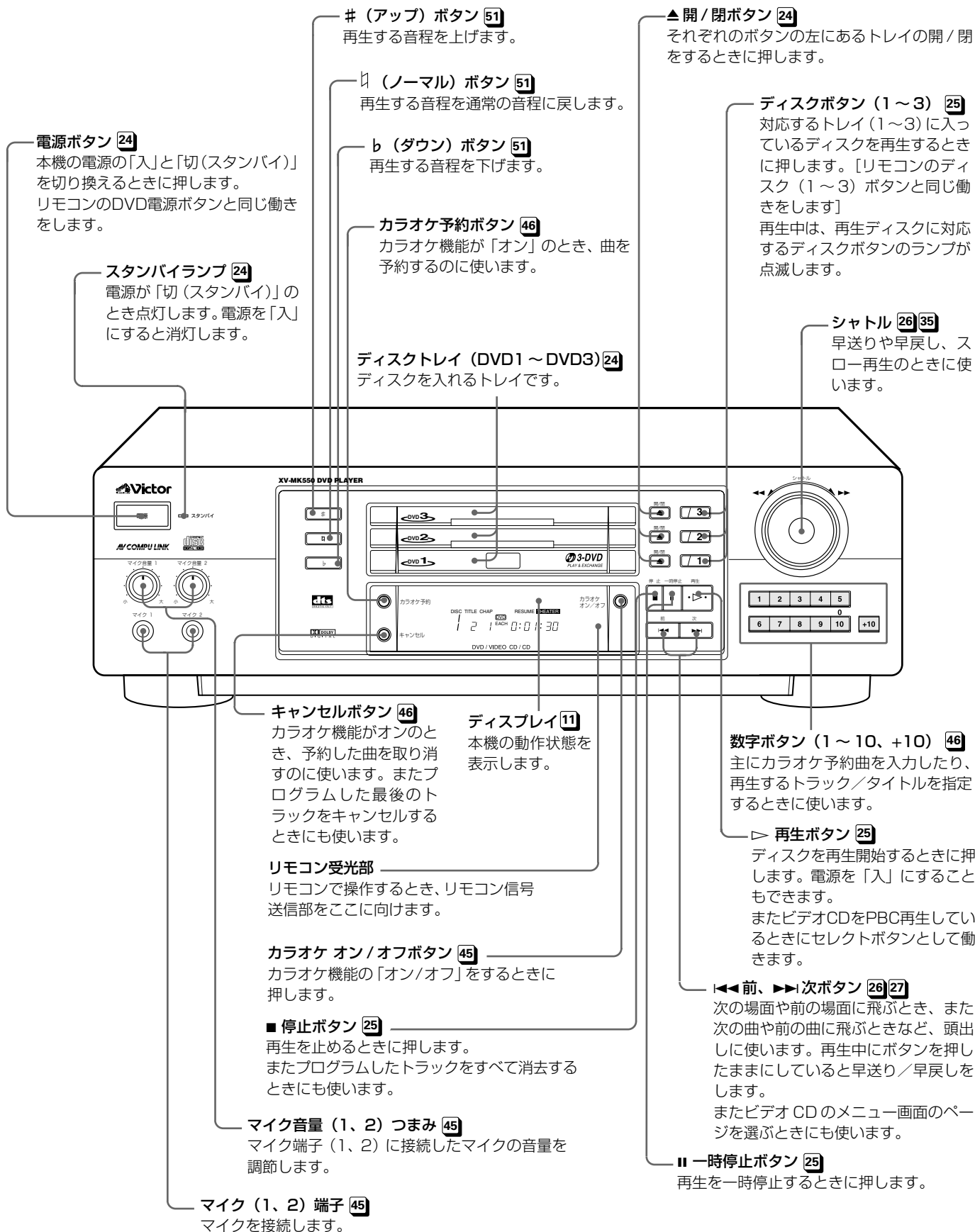
〈お知らせ〉

- ❚❚ 一時停止ボタンを１秒以上押し続けた場合もストロボ機能が働きます。
- 再生中にシフトボタンを押したまま音声／ストロボボタンを押した場合も９つの連続静止画像が現れますが、これらはリアルタイムで先に進みます。

追加情報、ちょっとした注意事項など

各部の名前

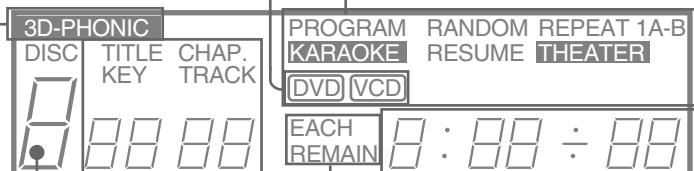
□内の数字のページに説明があります。

本体前面

ディスプレイ

ディスクタイプ表示
選択しているディスクのタイプを表示します。DVDビデオのときは「DVD」、ビデオCDのときは「VCD」が点灯します。オーディオCDのときは何も点灯しません。

プレイモード表示
働いている機能が点灯します。

3D フォニック表示
ドルビーデジタルまたはドルビーサラウンドで収録された音声を再生しているとき、3D フォニックの効果があると表示されます。

ディスク番号表示
現在選択しているディスクのディスク番号を表示します。

時間表示
トラックやディスクの残量時間や、ディスクのトータル時間を表示します。

時間モード表示
右側の時間表示部の時間モードを表示します。

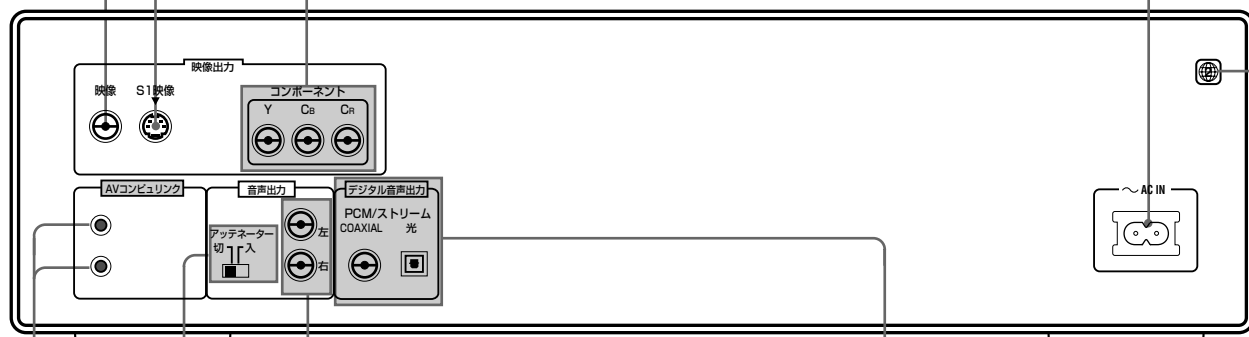
チャプター、タイトル、トラック表示
DVDビデオではタイトル番号、チャプター番号を表示します。ビデオCDやオーディオ CD ではトラック番号を表示します。
また再生する音程（キー）を変えたときは、音程の変化を数字で表示します。
（例：音程を２つ分下げたときは "-2" を表示）

本体背面

映像出力端子 19
映像信号（コンポジット）が出力される端子です。

S1 映像出力端子 19 20
映像信号（S1）が出力される端子です。

コンポーネント映像出力端子 19 20
コンポーネント映像信号が出力される端子です。

AC IN（電源）端子 27
交流 100 V の家庭用コンセントに付属の電源コードを使って接続します。

音声出力端子 19 20 21
アナログの音声信号が出力される端子です。

リージョン番号表示 17

アッテネータースイッチ 19
音声出力端子に接続する機器の入力感度が高すぎて音声がひずむときに「入」側にします。通常は「切」側にします。

デジタル音声出力端子（光 /COAXIAL） 21
光端子とコアキシャル端子（COAXIAL）の両方を装備しています。

AV（エーブィ）コンピュリンク端子 60
ビクター製のテレビやアンプなどを機器どうし連結することによって複雑な切り換えが自動的に行なわれるようにするための端子です。

各部の名前（つづき）

❑ 内の数字のページに説明があります。

リモコン

リモコン信号送信部
この部分を本体のリモコン受光部に向けて操作します。

ディスク１／設定、ディスク２、ディスク３（ディスク）ボタン 25 52
対応するトレイ（1～3）に入っているディスクを再生するときに押します。[本体のディスクボタン（1 ～ 3）と同じ働きをします]
またシフトボタンを押したままこのボタンを押すと、初期設定画面を表示します。
＊本取扱説明書では、これらの３つのボタンと本体前面パネルのディスクボタン（1 ～ 3）のどちらも「ディスクボタン」と呼ぶことにします。

DVD（ディーブイディー）電源／テレビ電源ボタン 24
本機の電源を「オン／オフ」します。
また TV の電源を「オン／オフ」するときには、シフトボタンを押したままこのボタンを押します。

数字ボタン 16
トラック／タイトル／チャプターやメニュー項目を選んだり、時間を入力するときに使います。またテレビのチャンネルを選ぶときにも使います。

スロー（＋、－）ボタン 26
画像のスロー再生をするときに使います。

テレビチャンネル（＋、－）ボタン 22
テレビのチャンネルを切り換えるときに押します。

オーディオ音量（＋、－）ボタン 26
ビクター製のオーディオアンプ／レシーバーの音量を調節します。

テレビ音量（＋、－）ボタン 23
テレビの音量を調節するときに押します。

⏮◀◀ 前スキップ／前サーチボタン 26 27
前の場面や曲の頭出しをするときに使います。またメニュー画面で前のページを表示するときに使います。
再生中にこのボタンを押し続けると、早戻し再生をします。
再生中にシフトボタンを押したままこのボタンを押したときも、早戻し再生をします。この場合、早戻し再生中にシフトボタンを押したままこのボタンを押すと、早戻しスピードが速くなります。

▶▶⏭ 次スキップ／次サーチボタン 26 27
次の場面や曲の頭出しをするときに使います。またメニュー画面で次のページを表示するときに使います。
再生中にこのボタンを押し続けると、早送り再生をします。
再生中にシフトボタンを押したままこのボタンを押したときも、早送り再生をします。この場合、早送り再生中にシフトボタンを押したままこのボタンを押すと、早送りスピードが速くなります。

⏸ 一時停止ボタン 25
再生を一時停止するときに押します。

▶ 再生ボタン 25
ディスクを再生開始するときに押します。電源を「入」にすることもできます。
またビデオCDをPBC再生しているときにセレクトボタンとして働きます。

■ 停止ボタン 25
再生を止めるときに押します。
またプログラムしたトラックをすべて消去するときにも使います。

決定ボタン 14 24 28
DVD ビデオに収録されたメニュー画面やオンスクリーン画面で項目を選んだあと、決定するときに使います。

字幕／ダイジェストボタン 33 41
字幕表示選択画面を表示します。画面表示中に押すと字幕表示のオン／オフをします。オンにしたあとカーソル（◄/►）ボタンを使って字幕言語を切り換えることもできます。
またシフトボタンを押したままこのボタンを押すと、曲の頭や映画の頭のところの画像を一覧表示します。

音声／ストロボボタン 34 41
音声言語を切り換えます。
またシフトボタンを押したままこのボタンを押すと、１コマごとの静止画を並べて表示します。

シフトボタン 23 57
第2機能（リモコン上で青い文字で表記）を持つボタンと一緒に押すことにより、各ボタンの第２機能が働きます。

再生モード／キャンセルボタン 36
各種再生機能(リピート、プログラム、ランダム、サーチなど)を使うとき、このボタンを押すと操作画面が表示されます。
またプログラムしたタイトル／トラックやカラオケの予約曲の取り消しをするときは、シフトボタンを押したままこのボタンを押します。

タイトル／カラオケ オン／オフボタン 28 45
DVDビデオに収録されているタイトルメニュー画面を表示するときに使います。
またシフトボタンを押したままこのボタンを押すと、カラオケ機能の「オン／オフ」が切り換わります（本体のカラオケ「 オン／オフ」ボタンと同じ働きをします）。

表示切換／時間切換ボタン 43 44 47
現在の状態（DVD ディスクのみ）や時間情報（全ディスクに対して）を表示します。
時間情報表示中、シフトボタンを押しながらこのボタンを押すと時間表示モードが変わります。
またカラオケ機能がオンのときにこのボタンを押すと、カラオケメニューを表示します。

アングル／ズームボタン 35 40
マルチアングルで収録されたＤＶＤ ビデオを再生中にアングルを切り換えるときに使います。
またシフトボタンを押したままこのボタンを押すと、画像を拡大して再生します。

テレビ／ ビデオ／シアターポジションボタン 23 42
テレビの入力（ビデオまたはテレビ）を切り換えるときに押します。
またシフトボタンを押したままこのボタンを押すと、画質を選ぶことができます。

リターン／3D（スリーディー） フォニックボタン 29 42
前に見ていたメニュー画面に戻るときなどに使います（DVDビデオ／ビデオCD用）。
またステレオのスピーカーから疑似的にサラウンド効果を出せる3Dフォニック機能を使うとき、シフトボタンを押したままこのボタンを押します。

メニュー／カラオケ予約ボタン 28 46
ＤＶＤ ビデオに収録されているメニュー画面を表示するときに使います。
またシフトボタンを押したままこのボタンを押すと、カラオケ機能が「オン」のとき曲を予約するのに使います（本体のカラオケ予約ボタンと同じ働きをします）。

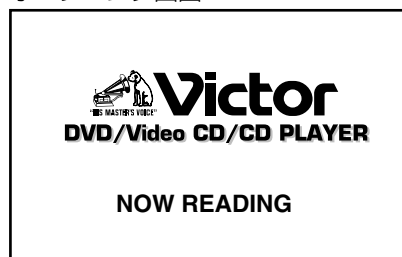
カーソル（▲/▼/►/◄）ボタン 14 24 28
DVDのメニュー画面や本機のオンスクリーン画面で、項目を選んだり設定を変えるときに使います。

操作上の予備知識

本機を操作する上で、あらかじめ知っておいていただきたいことがらを説明します。（☞で示されたページは関連する説明のあるページです）

オンスクリーン画面

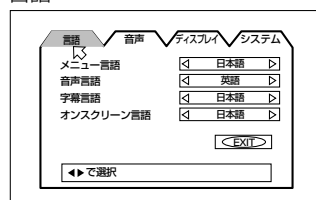
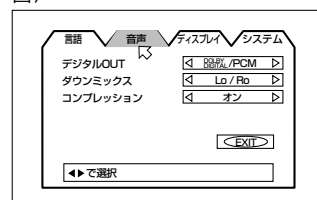
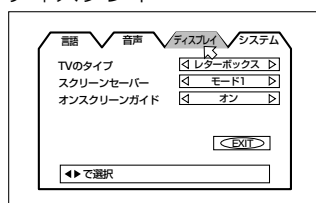
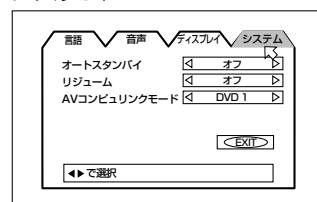
本機は状況に応じてテレビスクリーン上にさまざまな画面を表示します。これらの表示画面を使って各種設定や機能選択をします。また表示のみの画面もあります。

オープニング画面

NOW READING

オープニング画面

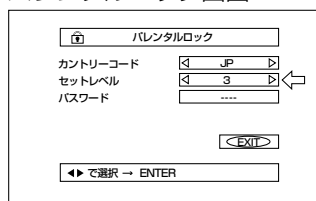
本機の電源を「入」にした直後など、状況によって自動的に表示されます。
状況に応じて、本機の状態を示す以下のメッセージが下部に表示されます。

- NOW（ナウ） READING（リーディング）：ディスク情報（TOC 情報）を読み取り中です。
- リージョン コード エラー!：リージョンコードが違うため、この DVD ビデオは再生できません。
- CHANGE（チェンジ） → DISC（ディスク） 1：ディスク 1 に切換中です。
- OPEN（オープン）：選んだディスクトレイを開きます。
- CLOSE（クローズ）：ディスクトレイを閉じます。

言語

音声

ディスプレイ

システム

初期設定画面

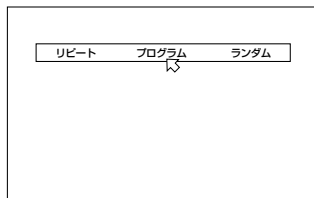
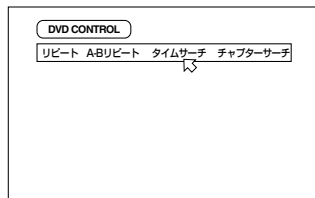
各種初期設定をするための画面を表示するには、停止中に、シフトボタンを押したままディスク 1　／設定ボタンを押します。初期設定画面には「言語」、「音声」、「ディスプレイ」、「システム」の４画面（左図参照）があります。

詳しくは 52 ページをご覧ください。

パレンタルロック画面

パレンタルロック画面

選択中のディスクトレイにディスクが入っていないとき、またはDVD ビデオかビデオ CD が停止中に、シフトボタンを押したまま決定ボタンを押すとパレンタルロック画面を表示します。この画面を使って視聴制限の設定をします。

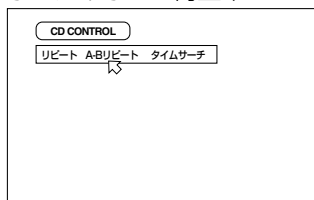
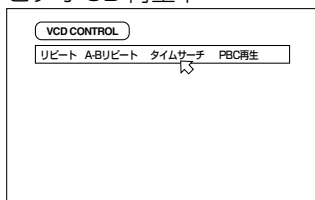
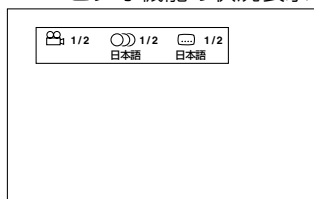
詳しくは 57 ページをご覧ください。

停止中

DVD ビデオ再生中

オーディオ CD 再生中

ビデオ CD 再生中

再生モード画面

リピート、プログラム、ランダム、タイムサーチなどの再生機能を設定するには再生モードボタンを押して再生モード画面を表示します。

ディスクの種類や本機の状態に応じて、異なる再生モード画面が表示されます。

詳しくは 31 ～ 39 ページをご覧ください。

DVD ビデオ機能の状況表示

DVD ビデオ時間表示

オーディオ CD 時間表示

ビデオ CD 時間表示

状態表示画面

DVD ビデオ機能の状態や時間情報を見るには表示切換／時間切換ボタンを押します。

DVD ビデオディスクの場合、表示切換／時間切換ボタンを押すたびにDVDビデオ機能の状況表示画面、時間表示画面、および表示オフが切り換わります。

ビデオ CD やオーディオ CD の場合、表示切換／時間切換ボタンを押すたびに時間表示画面、および表示オフが切り換わります。

時間表示画面を表示中、シフトボタンを押したまま表示切換／時間切換ボタンを押すと時間モードが切り換わります。

詳しくは 43 ページをご覧ください。

カラオケメニュー

カラオケ予約

カラオケ設定画面

カラオケに関する各種設定を行なうには、カラオケモードをオンのときに表示切換／時間切換ボタンを押します。

カラオケの予約を行なうにはシフトボタンを押したままメニュー／カラオケ予約ボタンを押します。

詳しくは 46 ～ 47 ページをご覧ください。

操作上の予備知識（つづき）

画面の焼き付きを防ぐ[スクリーンセーバー]

画面例

長い時間、静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するために本機は、スクリーンセーバー機能を備えています。停止中、メニュー再生中など静止画が表示されてから５分以上何も操作しないと、画面が暗くなるか、スクリーンセーバー画面が表示されます。またスクリーンセーバー機能はいずれかの操作ボタンを押すと解除され、前の画面に戻ります。

ご注意

- オーディオ CD 再生中またはオーディオ CD 再生を停止した後は、スクリーンセーバー機能が働きません。
  ☞ 55 ページ

再生中に画面に出る表示

DVD ビデオを再生していると、再生している映像に重ねてマークが表示されることがあります。それぞれ次のような意味があります。

マルチアングルで収録されたところの頭で表示されます。再生中にこの表示が出たら、［アングル］を切り換えることができます。
☞ 40 ページ

複数の音声が収録されたところの頭で表示されます。再生中にこの表示が出たら、［音声言語］を切り換えることができます。
☞ 41 ページ

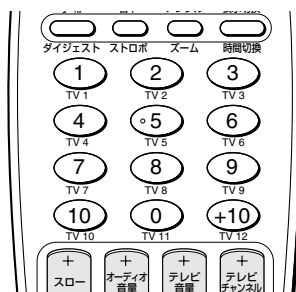
複数の字幕が収録されたところの頭で表示されます。再生中にこの表示が出たら、［字幕言語］を切り換えることができます。
☞ 41 ページ

これらを表示しないようにすることもできます。
☞ 55 ページ

操作中に⃠が表示されたら…

操作をしたときに⃠が表示されたら、その操作は無効です。ディスクによっては⃠が表示されなくても操作が無効となることもあります。

ディスクによって早送り、早戻し、スローモーション再生などいくつかの操作ができないように収録されたディスクがあります。この場合も操作が無効となります。

数字ボタンの使いかた

タイトルやトラックの番号を選ぶには

- **1 ～ 10 を選ぶには**
  その番号のボタンを押す。
- **11 以上を選ぶには**
  +10 ボタンを併用する。
  例： 13 番を選ぶには.... +10 → 3
  24 番を選ぶには.... +10 → +10 → 4
  40 番を選ぶには.... +10 → +10 → +10 → 10 と押します。

時間やチャプター番号を選ぶには

タイムサーチ機能での時間入力やチャプターサーチ機能でのチャプター番号入力は、上記と別のやりかたです。それぞれの機能説明をご覧ください。

テレビチャンネルを選ぶには

シフトボタンを押したままその番号のボタンを押します。0 (TV 11) は 11 チャンネル、+10 (TV 12) ボタンは 12 チャンネルに対応しています。

ディスクの予備知識

本機で再生できるディスク

本機で再生できるディスクは以下の通りです。

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVD ビデオ	音声＋映像	12 センチ	約4時間（片面２層）
			約8時間（両面２層）
		8 センチ	約80分（片面２層）
			約160分（両面２層）
ビデオ CD	音声＋映像	12 センチ	74 分
		8 センチ	20 分
オーディオ CD	音声	12 センチ	74 分
		8 センチ	20 分

再生できないディスク

・DVD-ROM　・DVD-RAM　・DVD AUDIO　・DVD-R　・DVD-RW
・CD-ROM　・フォトCD　・CD-R　・CD-RW

これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。
CD-G、CD-EXTRA、CD TEXT の場合、音声のみ再生できます。

リージョン番号（ローカル番号）について

DVD ビデオにはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号がついています。この番号がＤＶＤ ビデオプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。本機のリージョン番号は「2」ですので、DVD ビデオのディスク上に「2」という番号が含まれているディスクに限り再生することができます。

・　本機で再生できるディスクの表示例

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。ヨーロッパなどのテレビ方式（PAL、SECAM）用のディスクは再生できません。

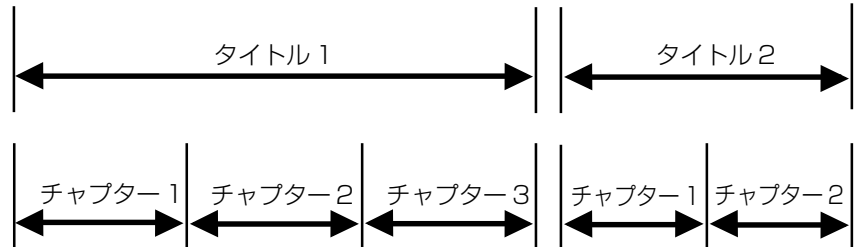
〈お知らせ〉

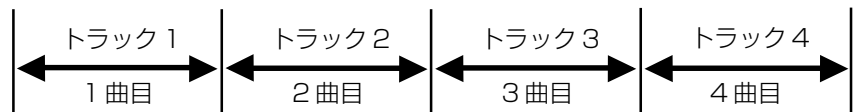
● DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。

ディスクの予備知識（つづき）

ディスクの構成

一般的にDVDビデオソフトは、タイトルと呼ばれるいくつかの大きな項目から構成されています。それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付いていて、お望みのタイトルがすぐに選べるようになっています。またタイトルはさらにチャプター（章）という小さな項目によって構成されています。それぞれのチャプターには番号（チャプター番号）が付いていて、お望みのチャプターがすぐに選べるようになっています。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

DVDビデオ映画作品の構成の例

一般的にオーディオCDは、トラックという呼び名で１曲ごとに区切られ、番号（トラック番号）が付いています。たとえば２曲目を指す場合には、「トラック２」となります。ビデオCDのカラオケなども同様です。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

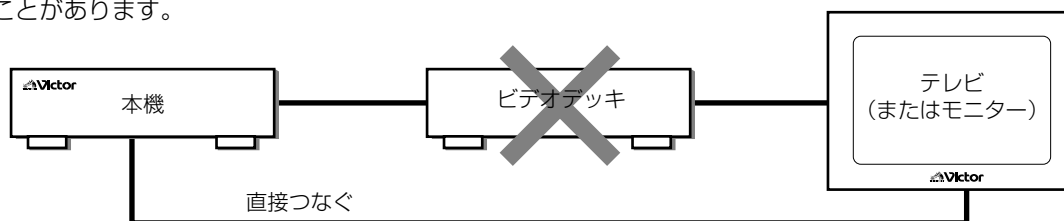
オーディオCDの例

接続する

本機をお使いいただくにはテレビやモニターと接続する必要があります。また、デジタル端子付きの機器やドルビーデジタルデコーダー内蔵のアンプと接続すると、より本格的な音声がお楽しみいただけます。

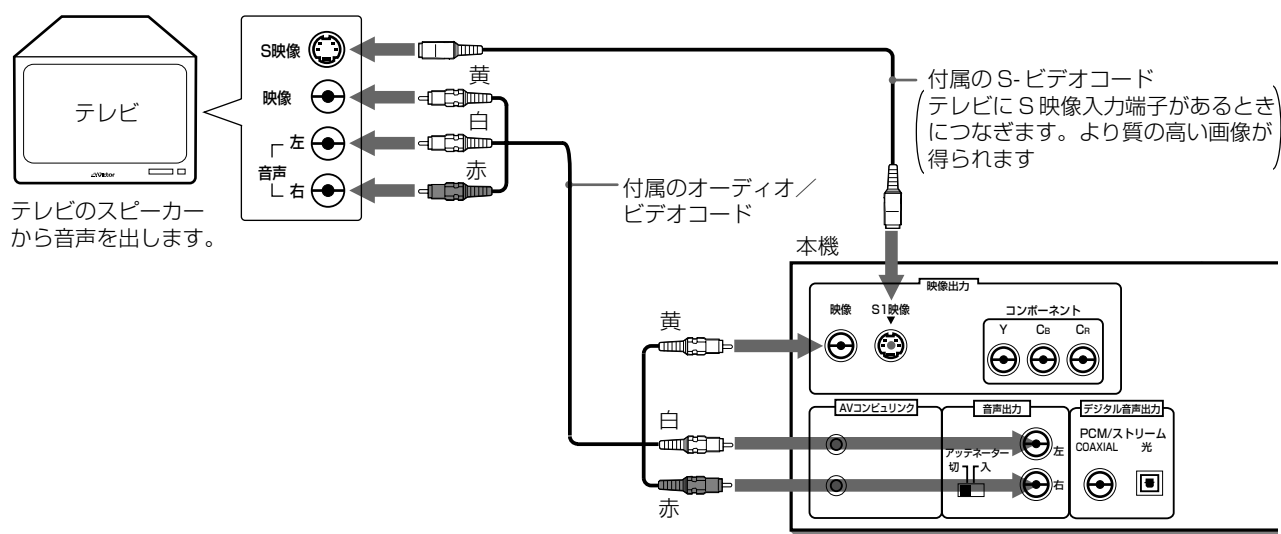
＊ 説明上の煩雑さを避けるために、以下の説明では本機の映像出力をテレビに接続するものとして説明しますが、テレビの代わりにモニターやプロジェクターに接続することもできます。

準備する

接続上の注意

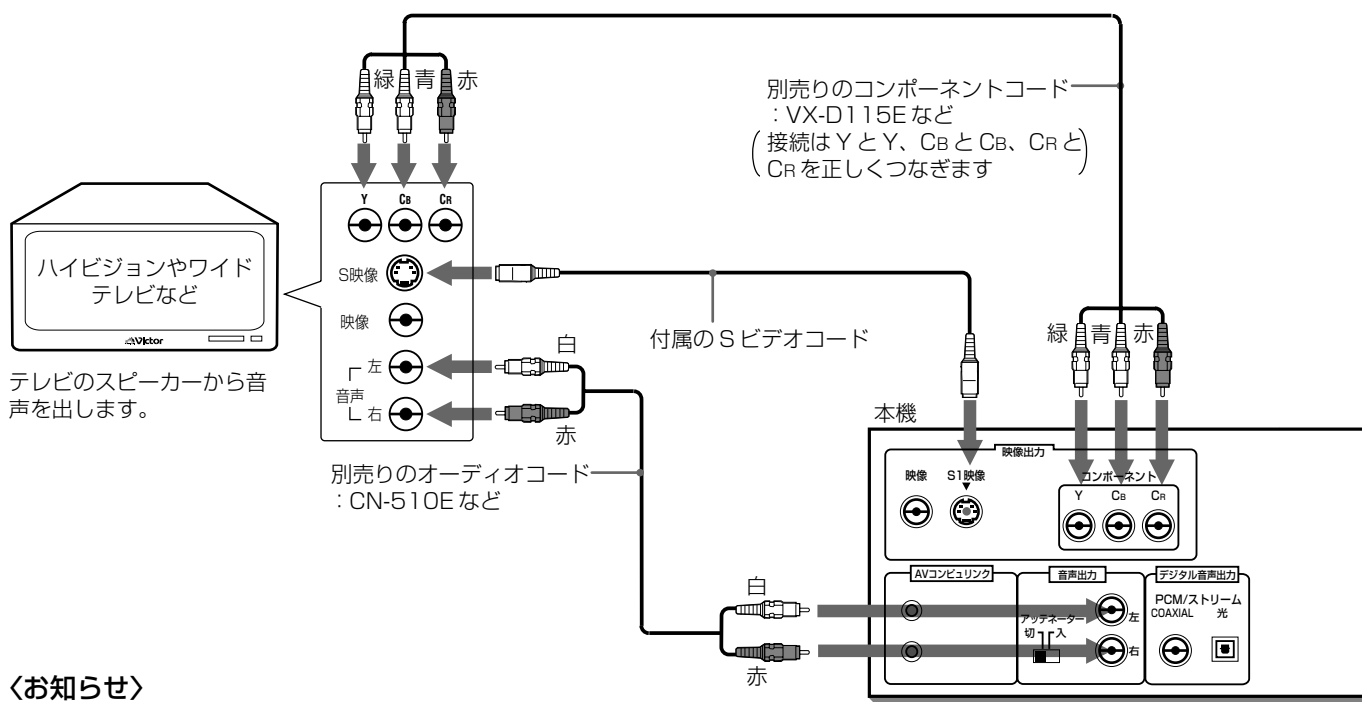
- すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 各プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音や音が出ないなどの原因となります。
- 接続間違いを防ぐため、接続コード（ピンコード）の黄色いプラグは映像端子へ、白いプラグは音声の左端子へ、赤いプラグは右端子につなぎます。
- 本機の映像出力は、直接テレビ（またはモニター）とつないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、再生時に映像が乱れることがあります。

- テレビやアンプの音声入力感度が高すぎて音声が歪むときは、本機の背面にあるアッテネータースイッチを「入」側にしてください。通常は「切」側で使います。

テレビと接続する

本機はテレビと接続するだけでお使いいただけます。より本格的な音声をお楽しみいただくには、オーディオ専用機器と接続してください。☞ 20、21 ページ

- S 映像信号とは
  従来の映像信号を輝度信号(Y)と色信号(C)に分離した信号です。鮮明で色のにじみが少ない映像が楽しめます。これにフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳したのが S1 映像信号です。
- テレビに AV コンピュリンクⅡ端子があるときは、「AV コンピュリンクの活用」をご覧ください。☞ 60 ページ

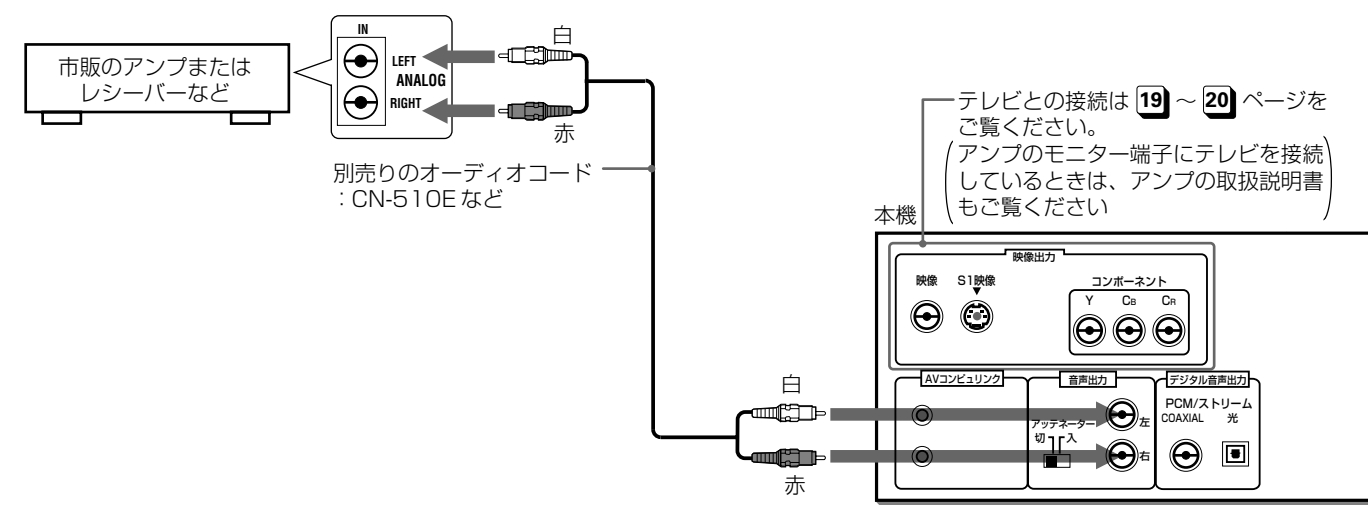
接続する（つづき）

DVD コンポーネント映像入力端子付きのテレビと接続する

コンポーネント映像出力端子を使って本機とテレビを接続することで、より高画質の映像をお楽しみいただくことができます。

〈お知らせ〉

- テレビやモニターの映像入力端子が BNC タイプの場合は、別売りのアダプター:VZ-90 を使用してください。
- S ビデオコードを使用した接続をしないと、テレビの機能の一部が正常に働かない場合があります。
- ハイビジョンの「Y」、「PB」、「PR」端子とは接続しないでください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- アンプにつないだスピーカーから音を出すときは下記をご覧ください。
- テレビに AV コンピュリンクⅡ端子があるときは、「AV コンピュリンクの活用」をご覧ください。60 ページ

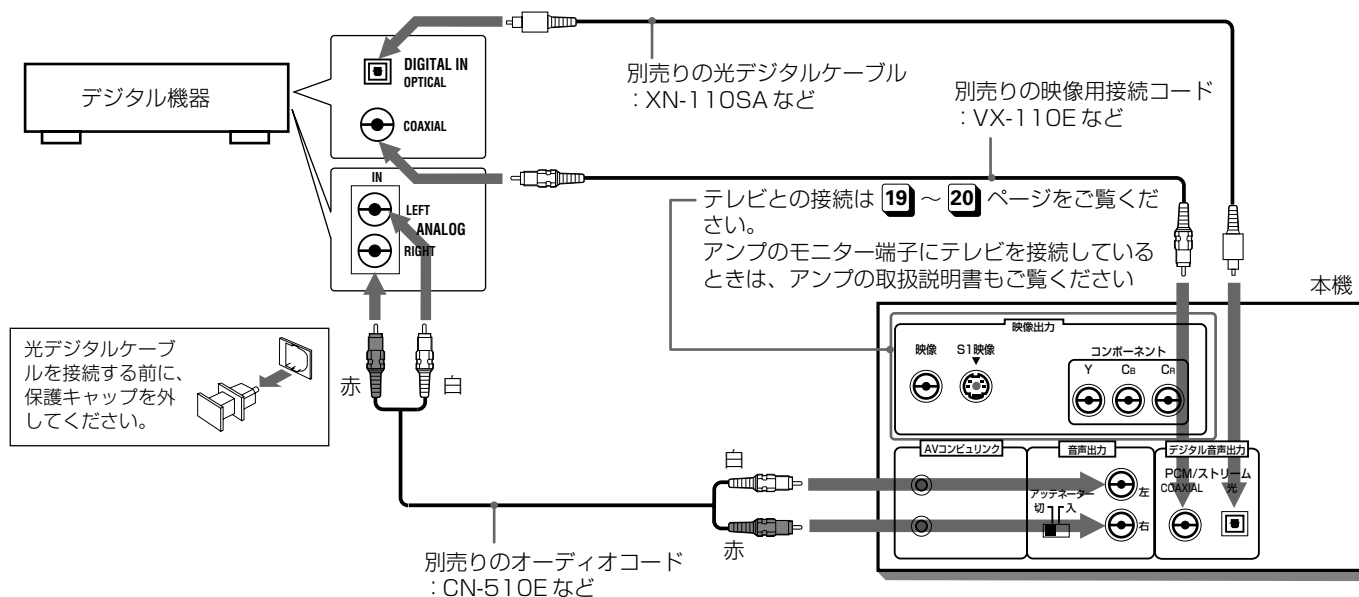
ステレオアンプやレシーバーと接続する

本機とステレオアンプやレシーバーを接続することで、より本格的なサウンドがお楽しみいただけます。

アンプのライン入力端子（AUX、DVD、CD など）を本機の音声出力端子と接続します。

- **接続が終わったら…**
  ドルビーデジタル 5.1ch のソフトを再生するときは、初期設定画面の「音声」のダウンミックスを Lt/Rt または Lo/Ro に設定してください。54 ページ

デジタル入力端子付きの機器と接続する

本機のデジタル出力端子をアンプなどのデジタル入力端子と接続することにより、本機で再生したディスクのオーディオ信号をデジタルのまま外部機器へ送ることができます。またドルビーデジタルやDTSデコーダー（あるいはデコーダー内蔵アンプ）と接続することにより、高音質のサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。

デジタル音声出力端子を使って接続する場合、音声出力端子を使った接続もしてください。DVDの収録方式によってはデジタル音声出力端子から信号が出力されないことがあります。

・ **接続が終わったら…**
初期設定画面の「音声」画面でデジタル OUT の設定を、接続した機器に合わせて切り換えてください。☞ 54 ページ

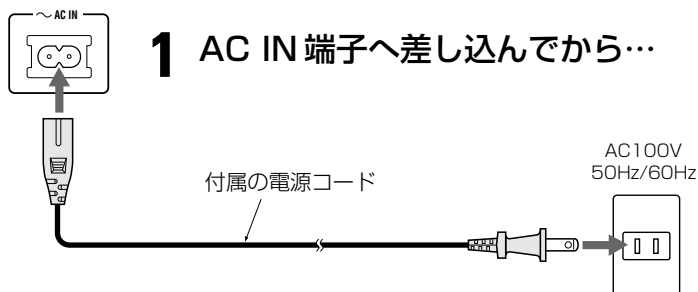
〈お知らせ〉

● DTS（Digital Theater System）とは
新しいサラウンド方式で、ドルビーデジタルを上回るデータ量を持ち、より高音質のサラウンド再生ができます。
信号のチャンネル数は、ドルビーデジタルと同じ5.1チャンネルですがデジタル録音時の音声圧縮率を低くしたフォーマットであるため、音に厚みのある高S/Nの再生が可能になっています。また、ダイナミックレンジが広くセパレーションに優れるなど緻密で雄大なサウンドが特長です。

● ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して本機の初期設定画面の「音声」にあるコンプレッションおよびダウンミックスは無効となります。また、スピーカー設定はデコーダー側で設定してください。

電源コードを接続する

全ての接続が終わったら、本機の電源コードをAC IN端子と家庭用コンセント（交流100V）にしっかりと確実に差し込みます。

1 AC IN 端子へ差し込んでから…

2 家庭用コンセントへ

〈お知らせ〉

● 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。

● 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：CN-325A をお買い求めください。

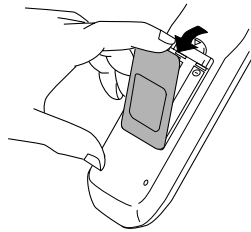
電源コードを接続すると、本体のスタンバイランプが点灯します。

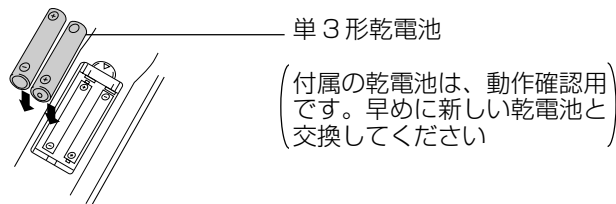
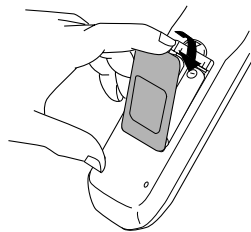
リモコンを使う

リモコンを使って、本機のコントロールのほかにテレビの基本操作を行なうことができます。

リモコンに電池を入れる

リモコンの背面に電池を入れる場所があります。

1 裏ブタの上端を手前に押しながら、引いてはずす

2 乾電池（単３形）を入れる

＋／－の向きがリモコン内部に表示されていますので、それに合わせ正しい向きに入れてください。

3 裏ブタを元通りに閉める

- リモコンで操作できる範囲がせまくなってきたり、本体に近づけないと操作できないときは、電池の交換時期です。
  ２本とも新しいアルカリ乾電池（単３形）などと交換してください。使用頻度によって変わりますが、寿命は半年程度です。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

リモコンでテレビを操作する

本機のリモコンを使って、テレビを操作することができます。

ビクター製のテレビをお使いの場合は、電池を入れるだけでリモコンからテレビの操作ができます。
ビクター製以外のテレビの場合は、本機のリモコンのメーカー設定が必要となります。

メーカー設定のしかた

テレビ／ビデオボタンは、操作が終わるまで押し続けてください。

1 テレビ／ビデオボタンを押したまま数字ボタンでメーカーのコード番号（2ケタ）を入力し、■停止ボタンを押す

テレビ／ビデオボタンを押したまま次の操作をしてください。

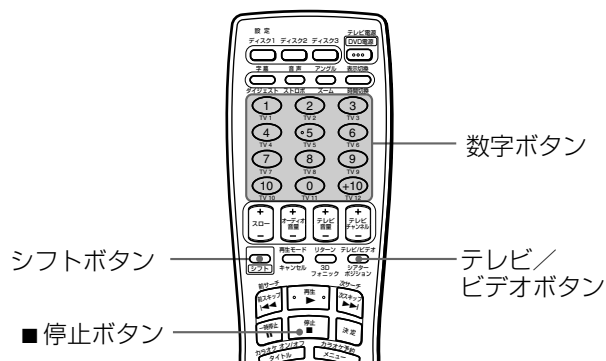
例： 松下１の場合

テレビ／ビデオボタンを押したまま

0 (TV 11) → 2 (TV 2) → ■（停止）と押す

メーカーコード表

メーカー名	コード番号
ビクター	01
松下１	02
松下２	03
三菱	04
ソニー	05
日立	06
東芝	07

メーカー名	コード番号
サンヨー１	08
サンヨー２	09
シャープ	10
パイオニア	11
NEC	12
フナイ	13
アイワ	14

2 テレビ／ビデオボタンを離す

● テレビの操作は次のボタンを使います。

ボタン	操作
シフト を押しながら テレビ電源 DVD電源	テレビの電源を「入」/「切（スタンバイ）」する
＋ テレビ チャンネル －	テレビのチャンネルを変える
＋ テレビ 音量 －	テレビの音量を調節する
シフト を押しながら 1 (TV 1) ～ 10 (TV 10)、0 (TV 11)、+10 (TV 12)	テレビのチャンネルを変える ● テレビによっては、（シフトボタンを押しながら）0 ボタンを押すと11チャンネル、+10ボタンを押すと12チャンネルが選べます。
テレビ/ビデオ シアター ポジション	テレビとビデオ入力を切り換える

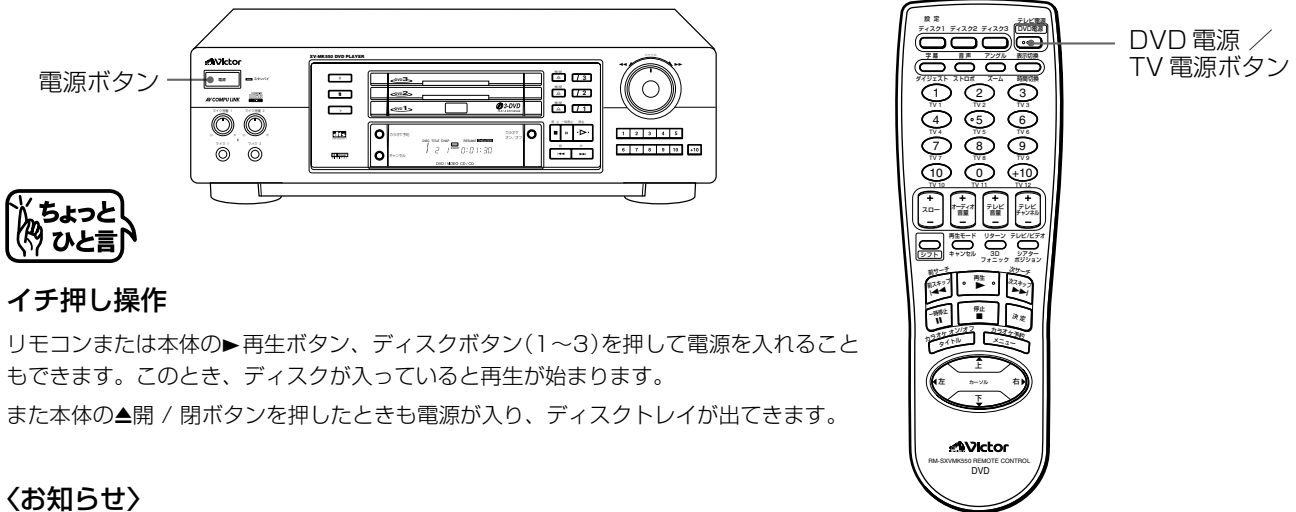
〈お知らせ〉

● 複数のコードを持つメーカーの場合、機種によって動作するコード番号が異なります。順番に試してみて正しく動作するコード番号を選んでください。

ビクター製のアンプ／レシーバーの音量を調節する

オーディオ音量（＋、－）ボタンを使ってビクターのアンプ／レシーバーの音量を調節することができます。

電源を入れる

リモコンのDVD電源／TV電源ボタンまたは本体の電源ボタンを押して電源を入れます。
スタンバイランプが消えて電源が入ります。電源を切るときも、リモコンのDVD電源／TV電源ボタンまたは本体の電源ボタンを押します。

イチ押し操作

リモコンまたは本体の►再生ボタン、ディスクボタン（1～3）を押して電源を入れることもできます。このとき、ディスクが入っていると再生が始まります。

また本体の▲開 / 閉ボタンを押したときも電源が入り、ディスクトレイが出てきます。

〈お知らせ〉

● 本機は、電源を「切（スタンバイ）」にしていても、わずかな電流が流れる設計になっています。長期間お使いにならないときは安全および節電のため、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

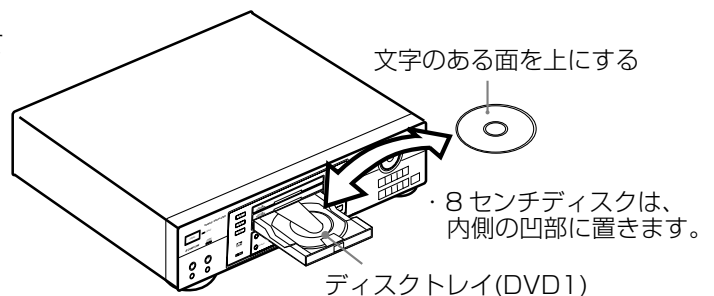
ディスクを入れる

本機に最大３枚のディスクをセットできます。１枚または２枚のみセットする場合、DVD1～３のどのディスクトレイにセットしてもかまいません。

1 ディスクを入れるトレイ右側の▲開 / 閉ボタンを押す

対応するディスクトレイが出てきます。下の図はDVD1のトレイにセットする場合です。

2 ディスクをディスクトレイに置く

ディスクはディスクトレイの溝に合わせて正しく置いてください。溝に合わないままディスクトレイを閉めると、ディスクが破損したり、ディスクが取り出せなくなることがあります。

3 そのトレイの▲開 / 閉ボタンを押す

ディスクトレイが閉まります。
この場合、ディスク番号１が表示窓に表示されていると、DVDによっては自動で再生が始まります。

4 他のトレイにもディスクを入れる場合、上記１、２、３を繰り返す

・ディスクトレイが出ているときに別のトレイの▲開/閉ボタンを押すと、出ていたトレイが閉まってからそのトレイが出てきます。
・ディスク再生中にそのディスクの▲開/閉ボタンを押すと、再生を停止してからディスクトレイが出てきます。
・ディスク再生中、（再生を中断することなく）別のディスクトレイのディスクの出し入れをすることができます（プレイエクスチェンジ機能）。

再生する

最も基本となる再生のしかた、停止、早送り、頭出しなどの操作を説明します。

再生する

1 ► 再生ボタンを押す
または
ディスクボタン（1 ～ 3 のいずれかのボタン）を押す

► 再生ボタンを押すと、ディスク番号が表示されているディスクの再生を始めます。

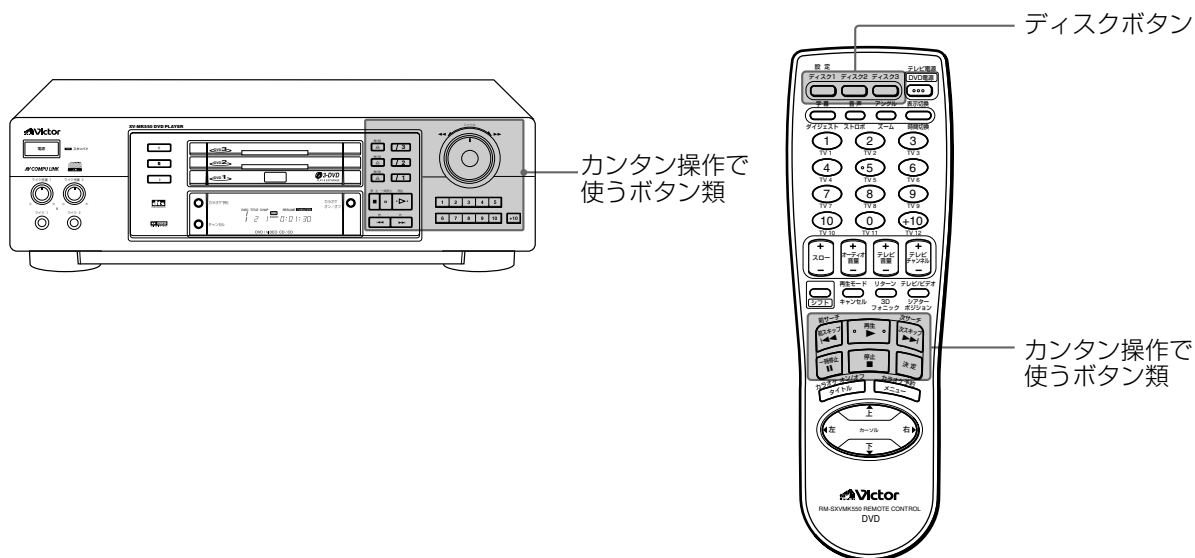
ディスクボタンを押すと、押した番号のディスクの再生を始めます。

再生を始めたディスクに対応する本体のディスクボタンのランプが点滅します。

最初のディスクの再生が終わると次のトレイのディスクの再生が始まり、3 つのトレイのディスクすべての再生が終わると停止します。再生順序は以下のとおりです。

· DVD1 → DVD2 → DVD3 → 停止

· DVD2 → DVD3 → DVD1 → 停止

· DVD3 → DVD1 → DVD2 → 停止

〈お知らせ〉

- 再生中は、本体ディスプレイにディスク番号とタイトル／チャプター、トラックの番号を表示します。
- ディスクの入っていないトレイがあるときは、次のトレイのディスクの再生に移ります。
- リジューム機能が「オン」で、前回に再生を中断したディスクを入れたままにしているときは、その位置から再生が始まります。 ☞ 27 ページ
- DVD ビデオや PBC（プレイバックコントロール）で収録されたビデオ CD では、ディスクボタンを押すとテレビ画面上にメニューが表示されることがあります。この表示されたメニューを見ながら項目を選択して、見たいところを呼び出すことができます。☞ 28 ページ
- DVD ビデオによっては、ディスクをセットすると本機が自動的に再生を始めます。
- **DVD ビデオや PBC（プレイバックコントロール）で収録されたビデオ CD の場合、または本機のカラオケ機能が「オン」になっているときは、自動で次のディスクの再生には移りません。このようなときは、次に再生したい番号のディスクボタンを押して再生してください。**

再生する（つづき）

停止する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

1 ■ 停止ボタンを押す

再生が停止します。

一時停止する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

1 ❚❚ 一時停止ボタンを押す

再生が一時停止になります。再生を再開するには ▶ 再生ボタンを押します。

早送り / 早戻しをする［サーチ］

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

■ 再生中に

リモコンから

1 ▶▶⏭ 次サーチボタンまたは ⏮◀◀ 前サーチボタンを押し続ける

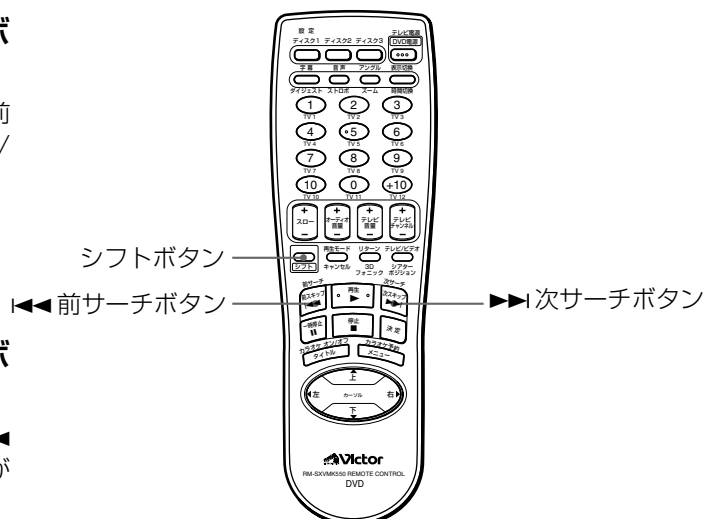
▶▶⏭次サーチボタンを押し続けると早送りになり、⏮◀◀前サーチボタンを押し続けると早戻しになります。早送り/早戻しは、通常の再生の約５倍のスピードになります。

通常の再生に戻すには ▶ 再生ボタンを押します。

または

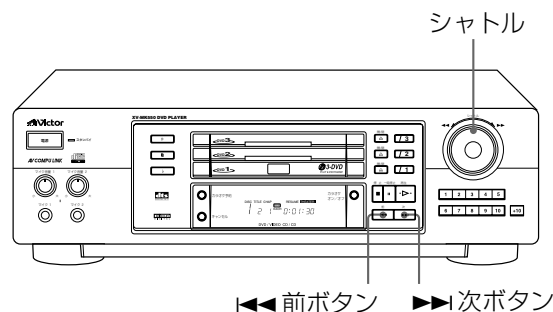
1 シフトボタンを押したまま ▶▶⏭ 次サーチボタンまたは ⏮◀◀ 前サーチボタン押す

シフトボタンを押したまま▶▶⏭次サーチボタンまたは⏮◀◀前サーチボタンを押すごとに、早送り/早戻しスピードが速くなります（2倍〜60倍）。

通常の再生に戻すには ▶ 再生ボタンを押します。

本体から

1 シャトルを使う

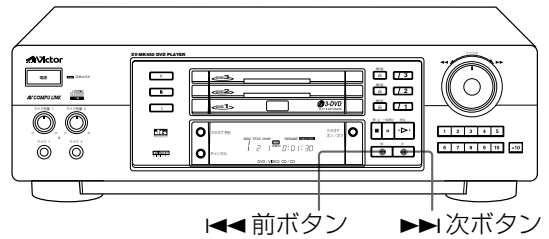
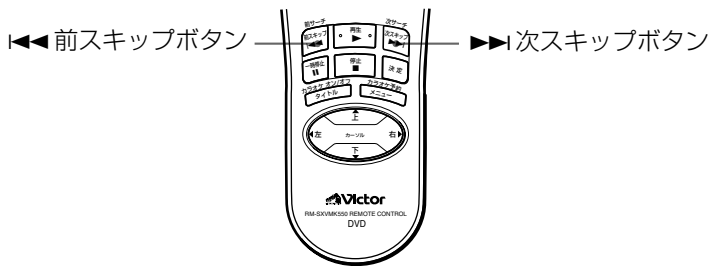
右に回すと早送りになり、左に回すと早戻しになります。回す角度を大きくするほど、速度が増します。

通常の再生に戻すにはシャトルから手を離します。

・ 本体の▶▶⏭次ボタンまたは⏮◀◀前ボタンを押し続けても早送り/早戻しができます。

頭出しをする［スキップ］

■ 再生中に

1 **►►| 次スキップボタンまたは |◄◄ 前スキップボタンを押す［本体の場合は ►►| 次または |◄◄ 前ボタンを押す］**

送る方向に頭出しをするには ►►| 次スキップボタンを押し、戻す方向に頭出しをするには |◄◄ 前スキップボタンを押します。オーディオ CD や PBC（プレイバックコントロール）オフで再生しているビデオ CD では、曲の頭などのトラック番号の区切りで頭出しができます。DVD ビデオや PBC オンで再生しているビデオ CD では、収録された内容によって異なりますが、多くのディスクではタイトルやチャプターの区切りで頭出しができます。

続きを再生する［リジューム再生］

前回再生を中断したところから続きを再生することができます（オーディオ CD を除く）。

中断した位置を記憶するには

1 **初期設定の「システム画面」の「リジューム」をオンに設定する**

（☞ 56 ページ）

2 **再生を中断したいところで ■ 停止ボタンを押して再生を停止するか、または DVD 電源／テレビ電源ボタン（本体の場合は電源ボタン）を押して電源をオフ（スタンバイ）にする**

再生を中断した位置を本機が記憶し、本体のディスプレイに[RESUME]が表示されます。

・ 上記の手順2で■停止ボタンを押した後で電源をオフにしても、位置の記憶はなくなりません。

続きを再生するには

■ 前回再生を中断したディスクが入ったままのとき

1 **► 再生ボタンを押す**

前回再生を中断した位置から再生が始まります。

● 位置の記憶を取り消すには

以下の操作のいずれかを行ないます。

・トレイからディスクを取り出す
・ディスクボタンを押して再生をする
・停止中に ■ 停止ボタンを押す
・DVD 電源／テレビ電源ボタン（本体の場合は電源ボタン）を押して電源をオンにする

〈お知らせ〉

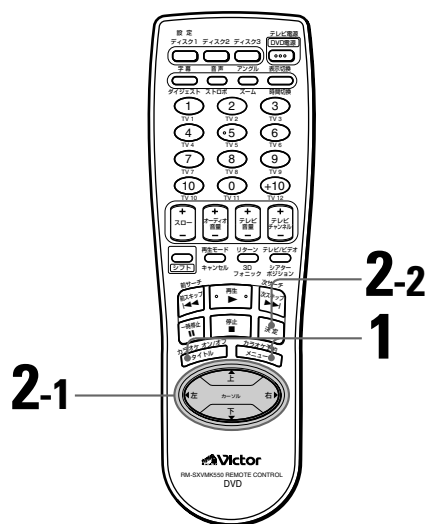
- ディスク1〜3ボタンを使って再生したときは、記憶位置からの再生になりません。常にディスクの頭からの再生になります。
- PBC 対応のビデオ CD では、記憶している位置よりも手前または後から再生されることがあります。
- 初期設定の「システム画面」の［リジューム］をオフに設定すると、この機能は働きません。停止中のディスクを通常の再生モードで再生すると、常にディスクの頭から再生を始めます。
- プログラム再生またはランダム再生のモードのときは、リジューム機能は働きません。

指定したところから再生する

タイトル、チャプター、トラックなどを選んだり、再生位置の時間を指定して、そこから再生することができます。これらの機能は本体ディスプレイにディスク番号が表示されているディスクに対して働きます。再生中は常にそのディスク番号が表示されますが、停止中に別のディスクに対して操作を行なうには、そのディスクのディスクボタンを押していったん再生を始めてから■停止ボタンを押します。

DVD メニューから選んで再生する

DVD ビデオ

DVD ビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

■ DVD ビデオの再生中または停止中

1 メニューボタンまたはタイトルボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

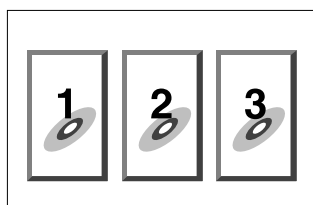
例

ちょっとひと言

・メニューボタンとタイトルボタンの使い分け

複数のタイトルが収録されているディスクは、タイトル名のリストが表示されるなど目次のような役割を持ったメニュー画面が収録されていることがあります。このような場合には、タイトルボタンを押します。また、複数のタイトルが収録されていないディスクでも何らかのメニュー画面が収録されていることがあります。このようなときには、メニューボタンを押します。収録されているメニュー画面が表示されます。

各ディスクのメニュー構成についてはディスクの説明書をごらんください。

・停止中は、メニューボタンは働きません。

2 カーソル（◀/▶/▲/▼）ボタンを使って見たいものを選び、決定ボタンを押す

選択したところから再生されます。

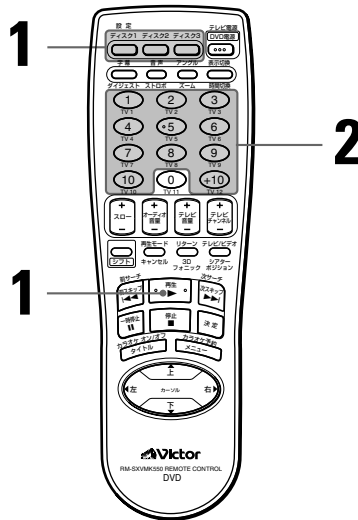
DVD カラオケのときは歌いたい曲を選びます。

・メニュー画面によってはカーソル（◀/▶/▲/▼）ボタンによる操作だけではなく、数字ボタンを押すだけで見たい画面を選ぶことができます。

〈お知らせ〉

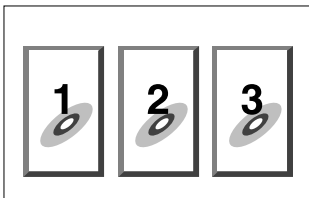
- **タイトルボタンを押したとき⃠が表示されたときは**
  そのディスクにタイトル一覧のリストを表示するようなメニュー画面が収録されていません。
- **メニューボタンを押したとき⃠が表示されたときは**
  メニュー画面自体が収録されていません。
- **DVD カラオケの場合**
  手順**1**、**2**の操作で、曲を予約せずに歌いたい曲が再生できます。

ビデオ CD のメニューから見たいところを選ぶ

PBC で 収録されたビデオ CD を再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面上に表示されます。 このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

■ PBC 対応ビデオ CD が停止中

1 ディスクボタンまたは ► 再生ボタンを押す

PBC のメニュー画面が表示されます。

例

2 数字ボタン（1～10、+10）を使って見たいところの番号を選ぶ

メニューの 3 番を見たいとき　：③を押す

メニューの 11 番を見たいとき：(+10)→①と押す

選んだ番号のところが再生されます。

メニュー画面に戻したいときには、リターン／ 3D フォニックボタンを押します。

テレビ画面上に［次］または［前］が表示された場合、

- ►►I ボタンを押すことによって、メニューの次のページへ進みます。
- I◄◄ ボタンを押すことによって、メニューの前のページへ戻ります。

※ 操作方法はディスクにより異なります。

ちょっとひと言

・ＰＢＣ再生中、本体のディスプレイに［ＰＢＣ］と表示されます。ＰＢＣが機能していない再生をしている場合は、■ 停止ボタンを押して再生を停止した後に ► 再生ボタンまたはディスクボタンを押すとＰＢＣ機能が働くようになります。この操作は、次のように再生モード画面でも行なうことができます。

1　再生モード／キャンセルボタンを押します。

2　カーソル（◄/►）ボタンを使って画面上の［PBC再生］に を合わせ、決定ボタンを押します。

・PBC機能オフで再生するには 、停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。（ 30 ページ「タイトルやトラックの番号を指定して再生する」をご覧ください。）

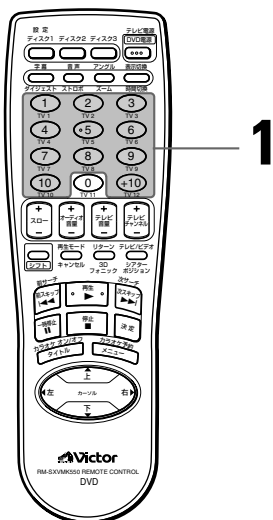
・この機能では ⓪ ボタンは使用しません。

いろいろな再生のしかた

指定したところから再生する（つづき）

数字ボタンを使って再生するところを選ぶ

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD

数字ボタンを使ってタイトル、チャプター、あるいはトラックの番号を指定し、そこから再生を始めることができます

■ DVD ビデオ　：いつでも
オーディオ CD ：いつでも
ビデオ CD　　：停止中または PBC オフで再生中に

1 数字ボタン（1〜10、+10）を使って番号を指定する

- 数字ボタンの使いかたについては、16ページをご覧ください。
- DVDビデオ再生中（メニュー画面表示時を除く）はチャプターを指定できます。
- DVD ビデオ停止中はタイトルを指定できます。
- オーディオ CD、ビデオ CD ではトラックを指定できます。

指定した番号が本体ディスプレイに表示され、そこから再生が始まります（ダイレクト再生）。

ちょっとひと言

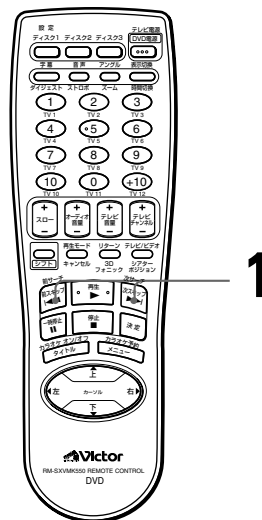
・この機能では 0 ボタンは使用しません。

〈お知らせ〉

- DVD ビデオ再生中でメニュー画面を表示しているときは、数字ボタンがメニュー項目の選択に使われます。
- **手順 1 で ⃠ が表示されたときは**
  押した番号のタイトルあるいはトラックが収録されていません。
- ビデオ CD を PBC 再生しているときはこの機能を使えません。
- カラオケ機能が「オン」のときは、DVD ビデオ再生中も数字ボタンを使って（チャプターではなく）タイトルを指定できます。

►►I/I◄◄ ボタンを使って再生するところを選ぶ

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD

前後のタイトル、チャプター、あるいはトラックの頭にスキップすることができます。

■ DVD ビデオ　：再生中に
オーディオ CD ：再生中に
ビデオ CD　　：PBC オフで再生中に

1 ►►I または I◄◄ ボタンを押す

オーディオ CD やビデオ CD ではトラックをスキップします。DVD ビデオでは、ディスクによってチャプターをスキップする場合とタイトルをスキップする場合があります。

- 先のタイトル／チャプター／トラックに進むには、必要な回数だけ ►►I ボタンを押します。
- 手前のタイトル／チャプター／トラックに戻すには、必要な回数だけ I◄◄ ボタンを押します。
- 現在再生しているタイトル／チャプター／トラックの頭に戻すには、1回だけI◄◄ボタンを押します。

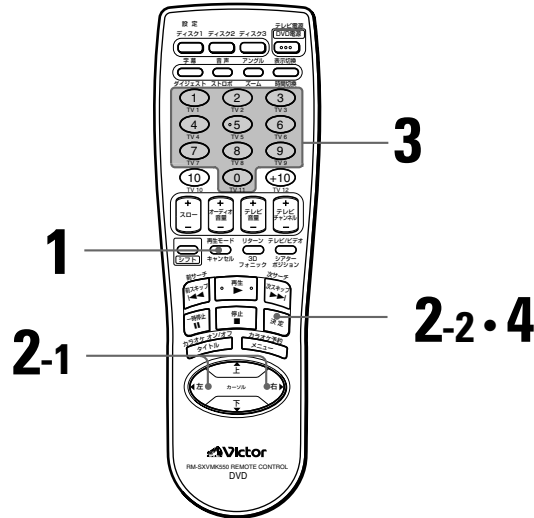
指定したチャプター／トラック番号が本体ディスプレイに表示され、そこから再生が始まります。

〈お知らせ〉

- DVD ビデオディスクによっては、この機能を受け付けないものもあります。
- ビデオ CD を PBC 再生しているときディスクによっては、この機能を受け付けません。

チャプター番号を指定して再生する［チャプターサーチ］

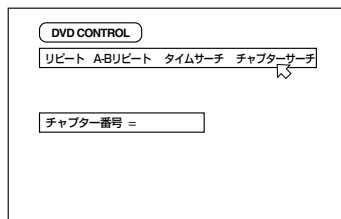
DVD ビデオ

映画が収録されたDVDビデオなどでは、多くの場合タイトル中の場面をチャプターに分割しています。このチャプター番号を指定することによって、その場面から再生を始めることができます。

■ DVD ビデオの再生中に

1 再生モード／キャンセルボタンを押す

DVD ビデオの再生モード画面が表示されます。

2 カーソル（◄/►）ボタンを使って［チャプターサーチ］に を合わせ、決定ボタンを押す

メニューの下に「チャプター番号」が表示されます。

3 数字ボタン(0 ～ 9) を使って再生したいチャプター番号を選ぶ

例：8 番のチャプターから再生したいとき
(8) を押す
37 番のチャプターから再生したいとき
(3)→(7) の順に押す

ちょっとひと言

・この機能では (10) と (+10) ボタンは使いません。

4 決定ボタンを押す

選んだ番号のチャプターから再生が始まります。

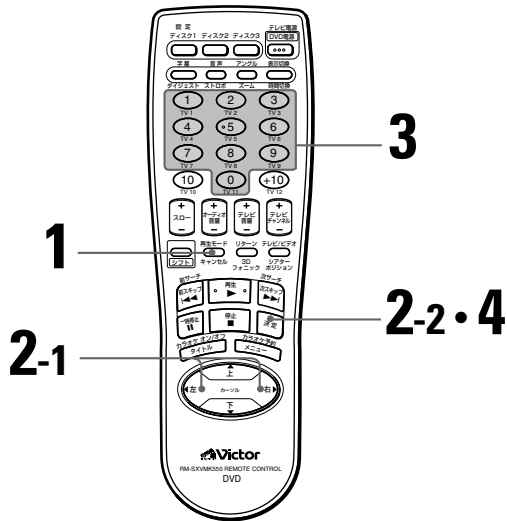
〈お知らせ〉

- **手順 3 で⊘が表示されたときは**
  入力した番号のチャプターは収録されていません。またはDVDビデオがこの機能を受け付けない収録になっています。
- ディスクによっては、手順 3 でチャプター番号を指定するとすぐにチャプターサーチを始めるものもあります。
- **手順 3 でチャプター番号を間違えたときは**
  正しい番号の数字ボタンを押し直してください。
- **再生モード画面を消すには**
  再生モード／キャンセルボタンを押します。

指定したところから再生する（つづき）

指定した時間に飛ぶ[タイムサーチ]

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD

タイムサーチ機能を使うと、現在のタイトルやトラックの頭からの経過時間を指定することによって希望の位置から再生を始めることができます。
ただしDVDビデオの中には時間情報が記録されていないものもあります。そのようなディスクに対してはこの機能を使えません。

■DVDビデオ　：再生中に
オーディオCD：再生中に
ビデオCD　　：PBCオフで再生中に

1 **再生モード／キャンセルボタンを押す**

再生モード画面が表示されます。

2 **カーソル（◀/▶）ボタンを使って[タイムサーチ]に ⇖ を合わせ、決定ボタンを押す**

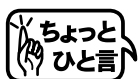
メニューの下に「タイム」が表示されます。

3 **数字ボタン(0 ～ 9)を使って時間を入力する**

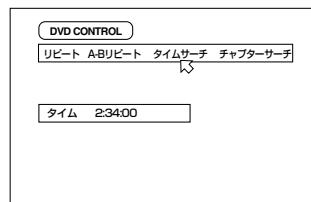
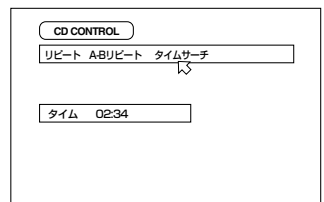
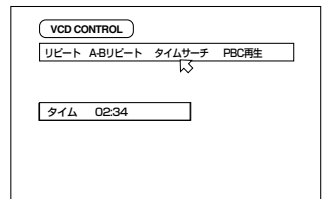
タイトルやトラックの頭からの経過時間を指定します。

4 **決定ボタンを押す**

指定した時間から再生が始まります。

ちょっとひと言

・この機能では 10 と +10 ボタンは使いません。
・DVDビデオでは「時間・分・秒」、オーディオCDやビデオCDでは「分・秒」で指定します。

DVDの場合

DVD CONTROL
リピート　A-Bリピート　タイムサーチ　チャプターサーチ
タイム　2:34:00

オーディオCDの場合

ビデオCDの場合

例1：現在再生しているDVDビデオのタイトルの頭から2時間34分の位置に飛びたいとき

時間を間違えた場合

間違えて入力した桁にカーソルを移動して、正しい数字ボタンを押し直してください。

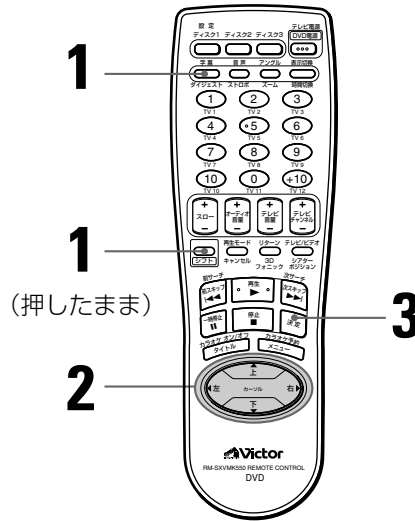
例：２時間34分を間違えて2時間35分と押してしまったときは

〈お知らせ〉

● **操作中に⃠が表示されたときは**
入力した時間がディスクの収録時間の範囲にないので、タイムサーチは機能しません。または DVD ビデオによってはこの機能を受け付けない場合があります。
● PBC 再生中のビデオ CD ではタイムサーチ機能が働きません。
● **再生モード画面を消すには：**
再生モード／キャンセルボタンを押します。

ダイジェスト画面から再生する画面を選ぶ[ダイジェスト]

DVDビデオ　ビデオCD

DVD ビデオの各タイトル／チャプター、あるいはビデオ CD の各トラックの最初の場面を一覧表示して、ディスクに収録された内容を容易に確認できます。また、一覧表示させた中から、見たいところを選ぶことができます。

■ DVD ビデオ ：　停止中または再生中に
　ビデオ CD　 ：　停止中または PBC オフで再生中に

1 シフトボタンを押したまま字幕／ダイジェストボタンを押す

DVD 停止中：各タイトルの最初の場面が最大９つまで一覧表示されます。

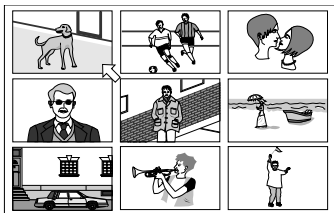
DVD 再生中：現タイトル内の各チャプターの最初の場面が最大９つまで一覧表示されます。

ビデオ CD　：各トラックの最初の場面が最大９つまで一覧表示されます。

2 カーソル(◄/►/▲/▼)ボタンまたは⏮/⏭ボタンを使ってタイトルを選ぶ

の指しているところが選んだ画面です。

収録されているタイトル、チャプター、あるいはトラックが９つより多くある場合はダイジェスト画面が２ページ以上になります。この場合、分割画面右下に表示された場面を選んでいるときに ⏭ ボタンまたは カーソル（►）ボタンを押すと次のページが表示されます。

また分割画面左上に表示された場面を選んでいるときに ⏮ ボタンまたは カーソル（◄）ボタンを押すと前のページが表示されます。

3 決定ボタンを押す

選んだ場面から再生が始まります。

・ダイジェスト画面が2ページ以上ある場合、シフトボタンを押しながら字幕／ダイジェストボタンを押して1ページ目の９つのシーン全部がテレビに表示される前に⏭ボタンを押すと、次のページが表示されます。同様に2ページ目以降のシーンが全部表示される前に⏮ボタンを押すと、前のページに戻ります。

選択したシーン

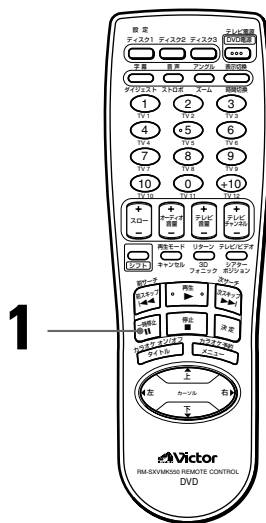
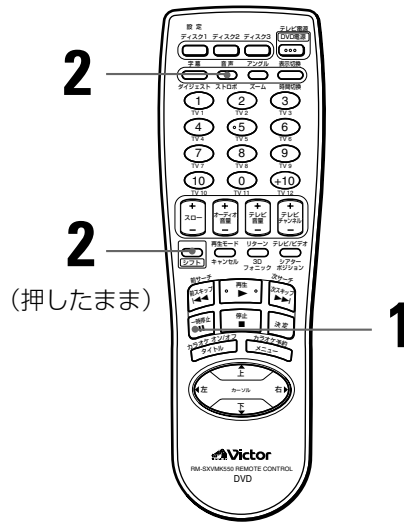
〈お知らせ〉

● ディスクによっては、すべての画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

特殊な画像再生

画像を１コマずつ送ったり、連続写真のように表示したり、スローモーション再生したり、あるいはズームアップすることができます。

画像を 1 コマずつ送る

DVD ビデオ　ビデオ CD

■一時停止中に

1　II 一時停止ボタンを押す

II 一時停止ボタンを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。

► 再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

連続写真のように表示する[ストロボ]

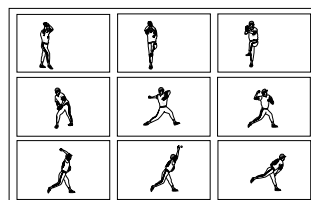
DVD ビデオ　ビデオ CD

■ 再生中に

1　連続写真のように表示したいところで II 一時停止ボタンを押す

2　シフトボタンを押したまま音声／ストロボボタンを押す

連続した９つの静止画像が画面に現れ、リアルタイムで先に進みます。これをストロボ再生といいます。ただし音声は出ません。

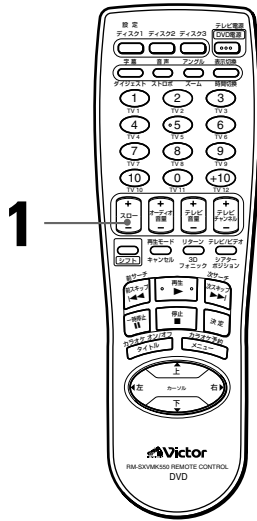
ちょっとひと言

・ストロボ再生中にII 一時停止ボタンを押すと、一時停止します。その状態でII 一時停止ボタンを押すと、押すごとに１画像ずつ変わります。► 再生ボタンを押すと9分割表示でストロボ再生をくり返します。

・ **ストロボ機能を解除するには**
シフトボタンを押したまま音声／ストロボボタンを押します。

〈お知らせ〉

- II 一時停止ボタンを 1 秒以上押し続けた場合もストロボ機能が働きます。
- 再生中にシフトボタンを押したまま音声／ストロボボタンを押した場合も 9 つの連続静止画像が現れますが、これらはリアルタイムで先に進みます。

スローモーション再生する[スロー]

DVDビデオ ビデオCD

■ 再生中に

リモコンから

1 スロー（+、−）ボタンを押す

スロー(+)ボタンを押すともっとも遅い速度で順方向のスロー再生が行なわれます。

スロー(−)ボタンを押すともっとも遅い速度で逆方向のスロー再生が行なわれます（DVDビデオのみ）。

いずれもボタンを押すごとにスローの速度が速くなります。

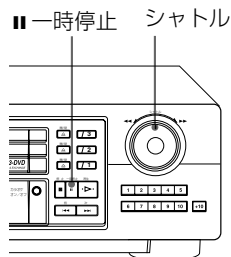
本体から

1 ▮▮ 一時停止ボタンを押してから、シャトルを回す

右回し: 順方向のスロー再生

左回し: 逆方向のスロー再生

再生の速度はシャトルの回転角度で調節できます。

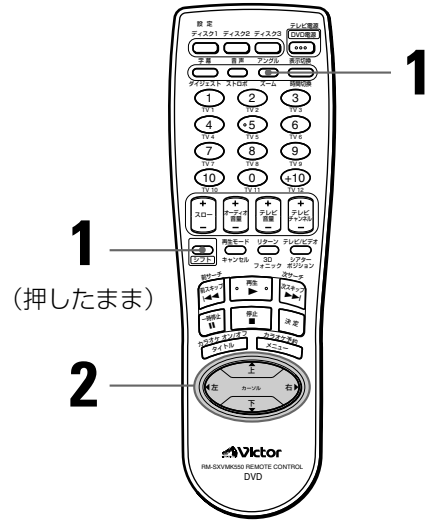
シャトルを離すと一時停止になります。

- **スロー再生を一時停止するには**
  ▮▮ 一時停止ボタンを押します。

- **通常の再生に戻すには**
  ► 再生ボタンを押して通常の再生にします。

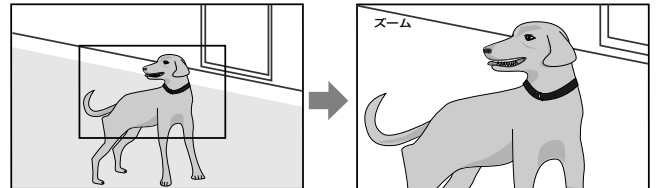
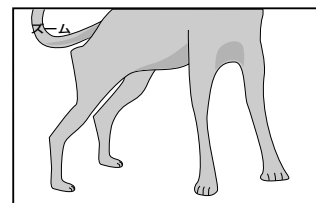
〈お知らせ〉

- スロー再生中、音声は再生されません。
- ビデオCDでは逆方向スロー再生ができません。

画面の一部を拡大する[ズーム]

DVDビデオ ビデオCD

■ 再生中または一時停止中に

1 シフトボタンを押したままアングル／ズームボタンを押す

[ズーム]がテレビ画面上に表示され、中央部が2倍に拡大されます。

2 カーソル（◄/►/▲/▼）ボタンを使って拡大したい部分を選ぶ

- **拡大した再生画面を一時停止するには**
  ▮▮一時停止ボタンを押します。►再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

- **ズームを解除するには**
  シフトボタンを押したままアングル／ズームボタンを押します。

〈お知らせ〉

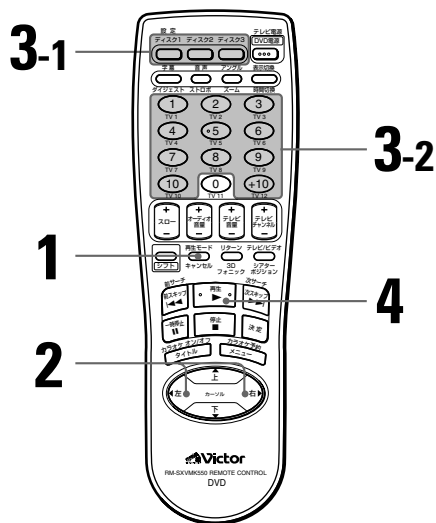
- 拡大すると、画質が悪化したり、シーンによってはブレることがあります。

見る順を変えて再生する

ディスクのタイトルやトラックを好きな順番で、あるいはランダム（無作為）に再生することができます。

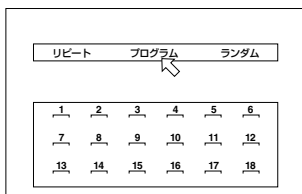
順番を決めて再生する[プログラム再生]

DVDビデオ　オーディオCD　

プログラム再生機能を使って、本機にセットされているディスクのタイトルやトラックを好きな順番で再生することができます。

■ 停止中に

1 再生モード／キャンセルボタンを押す

再生モード画面が表示されます。

2 カーソル（◄/►）ボタンを使って［プログラム］に を合わせ、決定ボタンを押す

メニューの下にプログラム設定画面が表示されます。

また本体ディスプレイに "PROGRAM" が表示されます。

3 ディスクボタン(1 ～3) を使ってディスクを指定してから、数字ボタン（1～10、+10）を使ってタイトルまたはトラックを選ぶ

この操作を繰り返して、最大 18 タイトル／トラックまで設定することができます。また、同じタイトル／トラックを何度も選ぶこともできます。

ディスク番号とタイトル／トラック番号が各プログラム番号の下に表示されます。

・ **手順 3 でプログラムするタイトルやトラックを間違えたときは**

シフトボタンを押したまま再生モード／キャンセルボタンを押すと、最後にプログラムしたタイトル／トラックが消去されます。

・ **プログラムの内容をクリア（取り消し）するには**

■停止ボタンを押します。

4 ► 再生ボタンを押して再生する

プログラム再生が始まります。

〈お知らせ〉

- DVDビデオの中にはプログラムモードで再生できないものがあります。
- プログラム再生中に ►►I ボタンを押すと、次にプログラムされているタイトルやトラックを選択します。
- プログラム再生中に再生モード／キャンセルボタンを押してプログラム設定画面を表示すると、再生中のプログラム番号が黄色く表示されます。
- プログラム再生中は、ディスク(1 ～3)ボタンや数字ボタンを押しても働きません。

・ **プログラム再生をやめるには**

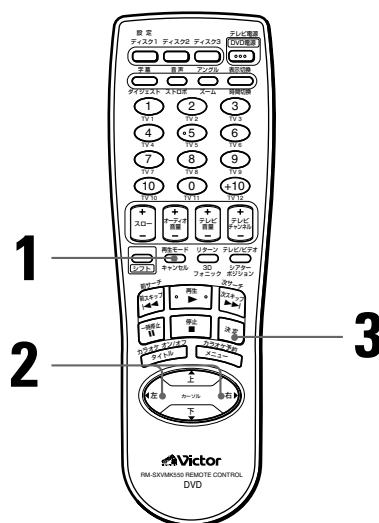
■停止ボタンを２回押します。
本体ディスプレイの "PROGRAM" 表示が消えます。
ただしプログラム内容は残っています。

ちょっとひと言

・停止中で再生モード画面を表示しているときに を[プログラム] に合わせて決定ボタンを押すと、プログラム内容がクリアされ、プログラム再生モードがオフになります。

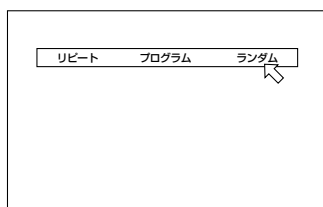
・この機能では 0 ボタンは使いません。

無作為な順番で再生する[ランダム再生]

ランダム再生では、本機がタイトルやトラックをランダム（無作為）な順番で再生します。

■ 停止中に

1 再生モード／キャンセルボタンを押す

再生モード画面が表示されます。

2 カーソル（◄/►）ボタンを使って［ランダム］に ⇖ を合わせる

本体ディスプレイに "RANDOM" が表示されます。

3 決定ボタンを押す

選択しているディスクをランダム再生します。すべてのタイトル／トラックを一回ずつ再生すると、次のディスク（セットされていれば）をランダム再生します。このディスクのランダム再生が終わると、3番目のディスク（セットされていれば）をランダム再生し、終わると、自動停止します。

ちょっとひと言

・一回のランダム再生で同じタイトル／トラックが何回も再生されることはありません。

・DVDビデオの中にはランダム再生が正しく行なわれないものがあります。

・ **途中でランダム再生を停止／解除するには**

■停止ボタンを押すと、ランダム再生が停止します。この状態ではランダム再生のモードのままです。
► 再生ボタンを押すと再びランダム再生を始めます。もう一度■停止ボタンを押すとランダム再生のモードを解除します。本体ディスプレイの "RANDOM" 表示が消えます。

くり返し再生する

再生中のタイトルやチャプター(DVD ビデオ)、再生中のトラックやオーディオ CD ／ビデオ CD、あるいはセットしている全ディスクをくり返して再生することができます。また、ある一部分をくり返し再生ことができます。

タイトル / チャプター / トラック、あるいは全ディスクをくり返す[リピート]

■ ビデオ CD の PBC 再生中を除いていつでも

1 再生モード／キャンセルボタンを押す

再生モード画面が表示されます。

2 カーソル(◄/►)ボタンを使って [リピート] に ☞ を合わせ、決定ボタンを押す

決定ボタンを押すごとにリピート表示は以下のように切り換わります。ただし、カラオケ機能がオンでDVDカラオケの場合は「A-B リピート」のみになります。

[DVD ビデオ再生中の場合]

リピート オール* :(全ディスクをリピート)
↓
リピート タイトル :(現在のタイトルをリピート)
↓
リピート チャプター :(現在のチャプターをリピート)
↓
無表示 :(リピートは働きません)

＊メニュー画面が表示されるDVDビデオは、リピート再生ができません。

[オーディオ CD ／ビデオ CD 再生中の場合]

(オーディオ CD)

(ビデオ CD)

リピート オール :(全ディスクをリピート)
↓
リピート 1 :(現在のトラックをリピート)
↓
無表示 :(リピートは働きません)

[DVD ビデオ／オーディオ CD ／ビデオ CD 停止中の場合]

リピート オール :(全ディスクをリピート)
↓
無表示 :(リピートは働きません)

- **リピート再生をやめるには**
  ■停止ボタンを押します。

ちょっとひと言

・「リピート オール」再生時に■停止ボタンを押すと、再生を停止しますがリピート設定は残っています。

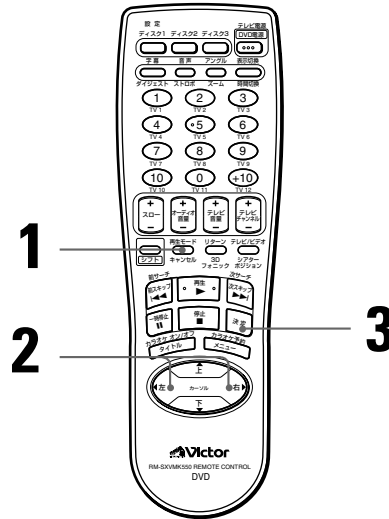
・「リピート 1」、「リピート タイトル」、「リピート チャプター」再生時に■停止ボタンを押すと、再生を停止してリピート設定を解除します。

- **再生を止めずにリピートの設定を解除するには**
  再生モードメニューの[リピート]に ☞ を合わせ「無表示」になるまで決定ボタンを押します。

〈お知らせ〉

- DVDビデオの中には、再生の途中で自動的に停止するものがあります。「リピート オール」中に、このようなディスクが途中で再生を自動停止した場合、本機は次のディスクの再生を始めます。
- 「リピート オール」中、次のディスクが PBC 対応のビデオ CDのときは、本機はそのディスクをPBCオフで再生します。
- ビデオ CDのPBC再生中は、リピート再生の設定ができません。
- DVDビデオ再生中、手順2で決定ボタンを押して⃠が表示されたらディスクの構成上、タイトルやチャプターのリピート再生ができません。

- **再生モード画面を消すには**
  再生モード／キャンセルボタンを押します。

指定した範囲をくり返し再生する [A-B リピート]

■ 再生中に

1 **再生モード／キャンセルボタンを押す**

再生モード画面が表示されます。

2 **カーソル（◄/►）ボタンを使って［A-B リピート］に を合わせ、くり返したい部分の頭で決定ボタンを押す**

くり返し部分の最初のところが「A ポイント」として表示されます。

3 **くり返したい部分の終わりで決定ボタンを押す**

くり返し部分の最後のところが「B ポイント」として表示されます。

A-B 間がくり返し再生されます。

（DVD ビデオ）　（オーディオ CD）

（ビデオ CD）

・ **A-B リピートの設定を解除するには**

■停止ボタンを押すと、再生を停止して、設定を解除します。またはカーソル（◄/►）ボタンを使って画面上の[A-B リピート]に を合わせ、決定ボタンを押すと、設定を解除しますが、再生を続けます。

〈お知らせ〉

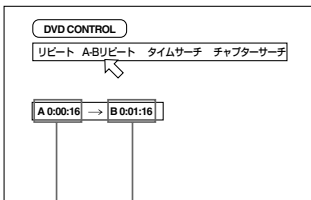
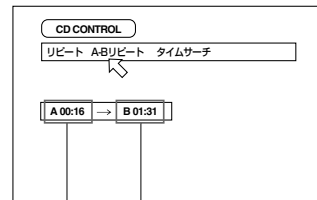
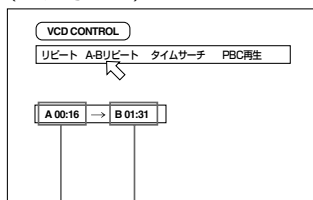
● **DVD ビデオ再生中、手順 2 で⃠が表示されたときは**

そのディスクでは A-B リピート機能が使えません。

● **再生モード画面を消すには**

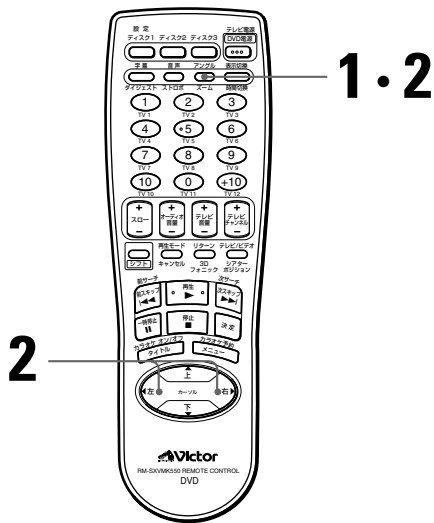
再生モード／キャンセルボタンを押します。

● プログラム再生中やランダム再生中、またはリピートが設定されていると、 を［A-B リピート］に動かすことはできません。

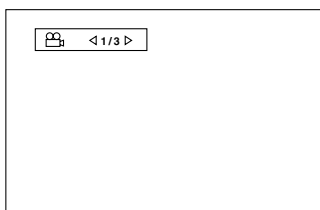
いろいろな再生のしかた

映像のアングルを変える

DVDビデオ音楽ライブソフトなどには、複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像（マルチアングル）が複数収録されたものがあります。このようなディスクを再生するときには、どの角度からの映像を見るか選択することができます。

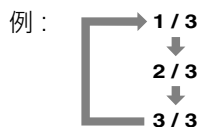
見る角度を切り換える[アングル]

DVD ビデオ

■ DVDビデオ再生中に

1 アングル／ズームボタンを押す

テレビ画面にアングル表示が現われます。

2 アングル／ズームボタンを押すか、またはカーソル（◀/▶）ボタンを使って見たいアングル番号を選ぶ

アングル／ズームボタンまたはカーソル（◀/▶）ボタンを押すごとにアングルが変わります。

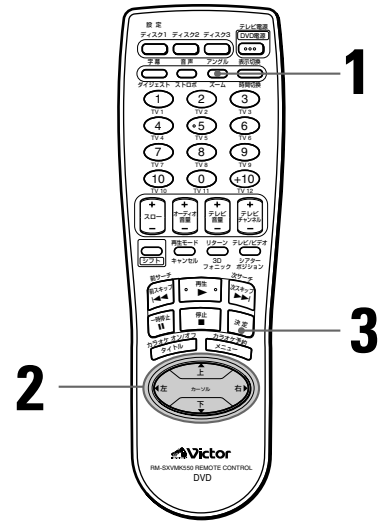
例：

〈お知らせ〉

- 10秒間何も操作しないとアングル表示は自動的に消えます。
- アングル表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- ⃠ が表示されたときは
  今再生しているところはマルチアングルで収録されていません。

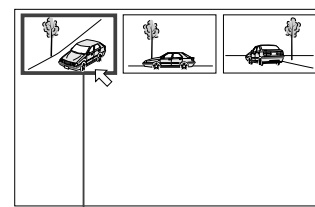
ちょっと ひと言

・マルチアングル収録された個所の冒頭でテレビ画面に 🎥 が表示されます。

アングル一覧からアングルを選ぶ[アングル]

DVD ビデオ

■ DVD再生中に

1 アングル／ズームボタンを1秒以上押す

テレビ画面上に、最大９アングルが表示されます。

選んでいるアングル

2 カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを使ってアングルを選ぶ

3 決定ボタンを押す

選んだアングルの画像が再生されます。

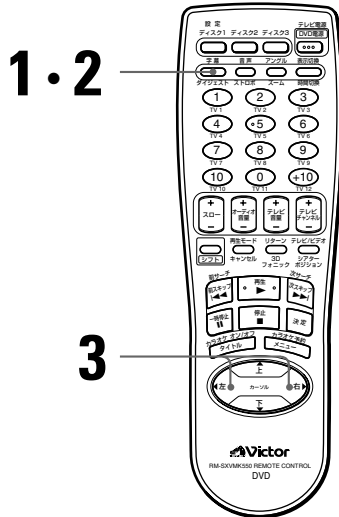
〈お知らせ〉

- ⃠ が表示されたときは
  今再生しているところはマルチアングルで収録されていません。またはディスクによっては、アングルの選択が禁止されています。
- 上記の操作中は、音声が消えます。

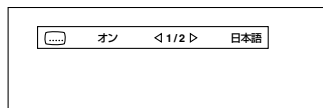
音声や字幕を切り換える

DVD ビデオでは外国映画のソフトなど、字幕が表示されるものや複数の音声が収録されたものがあります。このようなディスクを再生するときには字幕の種類（または字幕なし）や、音声を選択することができます。
またビデオ CD ではオーディオ再生チャンネルを切り換えることによって、カラオケの歌あり／なしを選択できます。

字幕を切り換える[字幕言語]

DVD ビデオ

■ DVD ビデオ再生中に

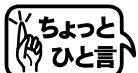
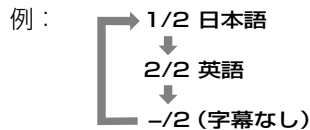
1 字幕／ダイジェストボタンを押す

テレビ画面に字幕言語表示が現われます。

2 字幕を表示するしないを切り換えるには字幕／ダイジェストボタンを押す

3 字幕言語を切り換えるにはカーソル（◄／►）ボタンを押す

（◄／►）ボタンを押すごとに字幕言語が切り換わります。

例：

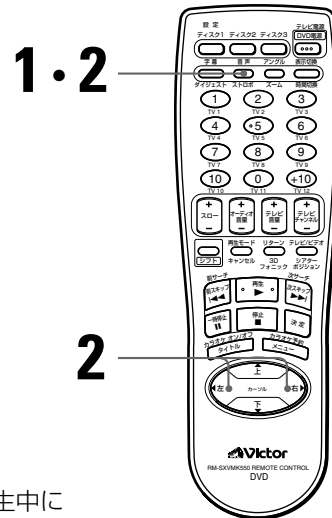
ちょっとひと言

・英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コードが表示されます。☞ 65 ページ

〈お知らせ〉

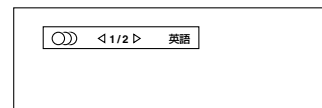
- 字幕／ダイジェストボタンを押して10秒間何も操作をしないと、字幕選択表示が消えます。この表示がある間に字幕を選んでください。
- 字幕選択表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- **字幕／ダイジェストボタンを押して⃠が表示されたときは**ディスクに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- **マルチ字幕機能は、その内容がDVDビデオに記録されていなければ、ご使用になれません。**

音声言語や音声チャンネルを選ぶ[音声言語]

DVD ビデオ　ビデオ CD

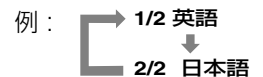
音声出力を切り替えることによって、映画の音声言語を選んだり、カラオケのボーカルあり／なしを選ぶことができます。

■ 再生中に

1 音声／ストロボボタンを押す

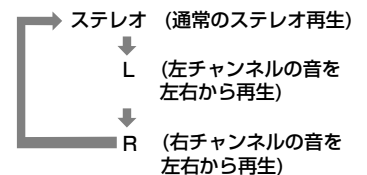
テレビ画面に音声言語表示が現われます。

2 音声／ストロボボタンを押すか、またはカーソル（◄／►）ボタンを使って音声言語や音声チャンネルを選ぶ

[DVD ビデオ再生中の場合]

音声／ストロボボタンやカーソル（◄／►）ボタンを押すごとに、音声言語やサウンドが切り換わります。

例：

[ビデオ CD 再生中の場合]

音声ボタンやカーソル（◄／►）ボタンを押すごとに、音声／ストロボチャンネルが切り換わります。

ちょっとひと言

・英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コードが表示されます。☞ 65 ページ

〈お知らせ〉

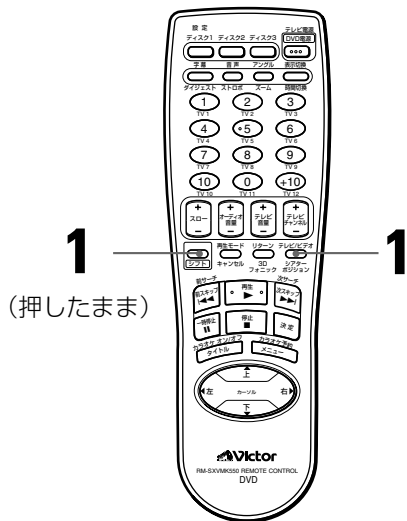
- 10 秒間何も操作しないと音声言語表示は自動的に消えます。
- 音声言語表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- **DVDビデオ再生中に音声ボタンを押して⃠が表示されたときは**ディスクに複数の音声言語が収録されていないか、その操作が禁止されています。

画質を切り換える

映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を選択することができます。

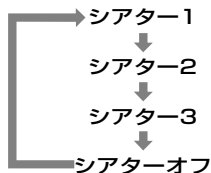
画質を切り換える[シアターポジション]

DVDビデオ　ビデオCD

1
（押したまま）
1

■ 再生中に

1　シフトボタンを押したままテレビ／ビデオ／シアターポジションボタンを押して画質を選ぶ

シアターポジション

シフトボタンを押したままテレビ／ビデオ／シアターポジションボタンを押すごとに以下のように切り換わります。

「シアター　オフ」が通常のポジションです。大きい番号ほど効果が強くなります。

画面の明るさを抑えた落ち着いた映像になります。

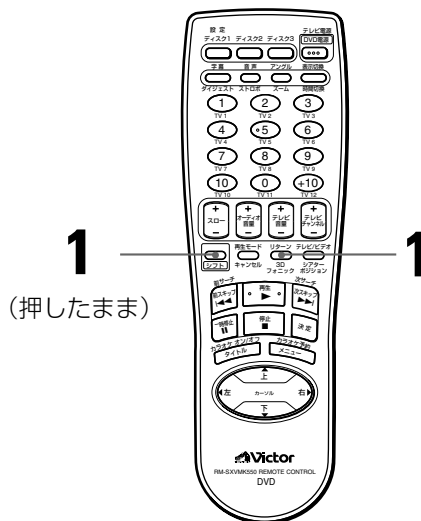
- 5秒以上何も操作しないとシアターポジション表示は自動的に消えます。
- シアターポジション表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- 「シアター　1～3」のときは、本体ディスプレイに THEATER が表示されます。

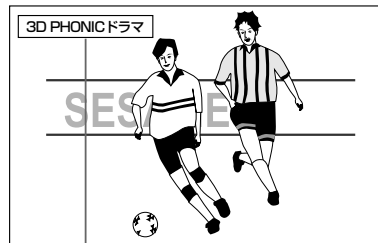
サラウンド感を演出する

スピーカーが2本でも、サラウンドの効果を擬似的に演出することができます。

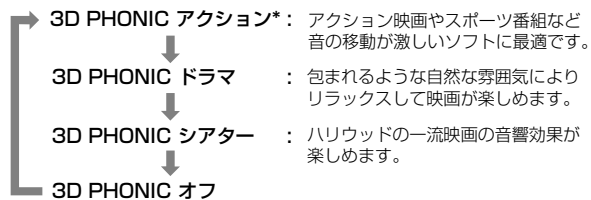
サラウンド感を演出するには[3D フォニック]

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

1
（押したまま）
1

■ 再生中に

1　シフトボタンを押したままリターン／3D フォニックボタンを押して好みの設定を選ぶ

選択中の設定

シフトボタンを押したままリターン／3D フォニックボタンを押すごとに、設定が以下のように切り換わります。

3D PHONIC アクション*：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
↓
3D PHONIC ドラマ：包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
↓
3D PHONIC シアター：ハリウッドの一流映画の音響効果が楽しめます。
↓
3D PHONIC オフ

* ドルビーデジタルの3チャンネル以上で収録された音声を再生中の場合には、「3D PHONIC アクション」を設定することはできません。

- 「3D PHONICアクション ～ シアター」のときは、本体ディスプレイに 3D-PHONIC が表示されます。

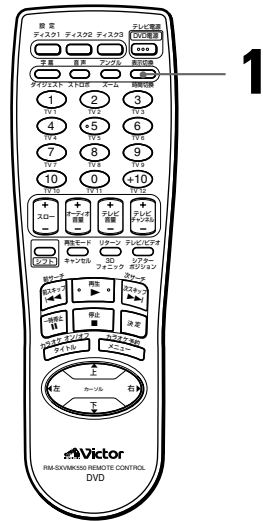
43 ページへ続く

〈お知らせ〉

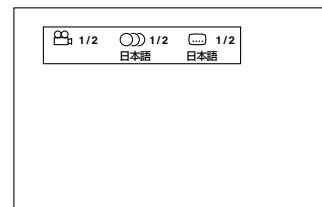
- 5秒以上何も操作しないと3Dフォニック表示は自動的に消えます。
- 3Dフォニック表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- ビデオCDで音声をLまたはRに設定しているとき、3Dフォニック機能を使えません（「3D PHONICオフ」になります）。
  逆に3Dフォニック機能を使っているとき、ビデオCDの音声をステレオからLまたはRに変更することはできません。
- 3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタルで音声が収録されているディスクを再生しているときに限り正しい効果が得られます。これ以外のディスクでは正しい効果が得られません。
- デジタル音声出力端子から出力されるDTSビットストリーム信号やドルビーデジタルビットストリーム信号では、3Dフォニック機能が無効になります。
- リニアPCMで収録されたDVDビデオの音声は、3Dフォニックボタンを押しても動作しません。
- 3Dフォニック機能を働かせると、初期設定の「音声」画面にあるダウンミックスとコンプレッションの設定が無効になります。

時間やDVDビデオの機能をチェックする

現在選択中（あるいは再生中）のディスク／時間に関する情報やＤＶＤ ビデオ機能の状況をチェックすることができます。

DVDビデオ機能の状況を見る

■DVDビデオ再生中

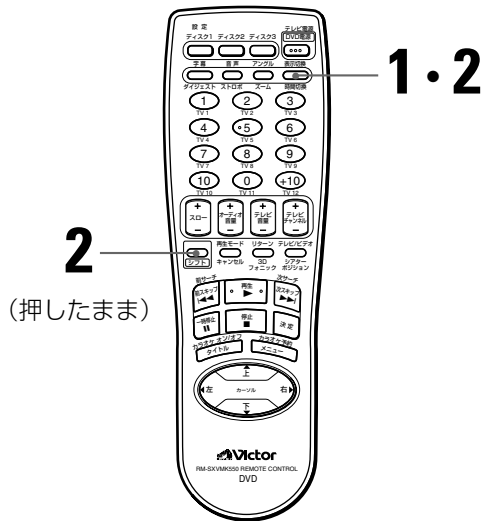
1 表示切換／時間切換ボタンを押す

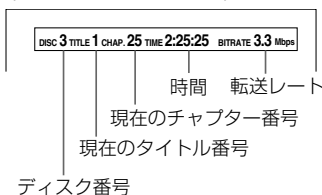
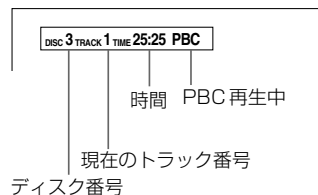
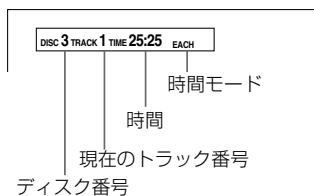
現在選んでいるカメラアングル、音声言語、字幕言語を表示します。

- **DVDビデオ機能状況表示画面を消すには**
  表示切換／時間切換ボタンを2回押します。

時間やDVDビデオの機能をチェックする（つづき）

ディスク／時間情報を見る

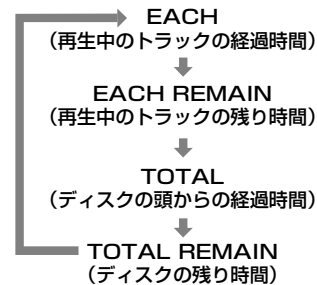
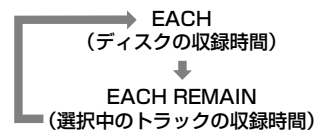
DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD

■ 再生中

1 表示切換／時間切換ボタンを押す

（DVDビデオ再生中は2回ボタンを押してください）
時間表示画面が表示されます。

(DVDビデオの場合)　(PBC再生中のビデオCDの場合)

(オーディオCD／PBCオフで再生中のビデオCDの場合)

オーディオCDやPBCオフで再生中のビデオCDの時間表示モードを切り換えるには、

2 シフトボタンを押したまま表示切換／時間切換ボタンを押す

時間表示が以下のように切り換わります。

[オーディオCD]

[PBCオフで再生中のビデオCD]

選択された時間情報はテレビ画面のほかに本体ディスプレイにも表示されます。

■ 停止中

オーディオCDとビデオCDについては本体ディスプレイ上でディスクの総収録時間と選択トラックの収録時間をチェックすることができます。

1 シフトボタンを押したまま表示切換／時間表示ボタンを押す

本体ディスプレイにEACHとREMAINが表示されているときは選択中のトラック収録時間、REMAINだけが表示されているときはディスクの総収録時間が表示されます。

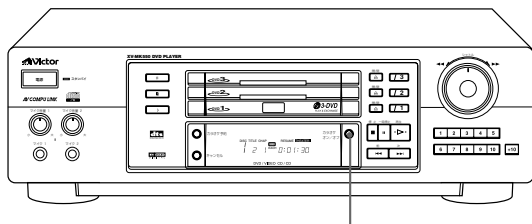
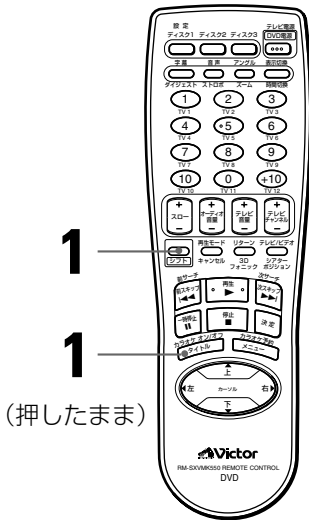
ちょっとひと言

・ディスク停止中に⏮または⏭ボタンを押してトラックを選ぶことができます。

・ **時間表示画面を消すには**
　表示切換／時間表示ボタンを押します。

カラオケ操作の前に

カラオケ機能を「オン」にする

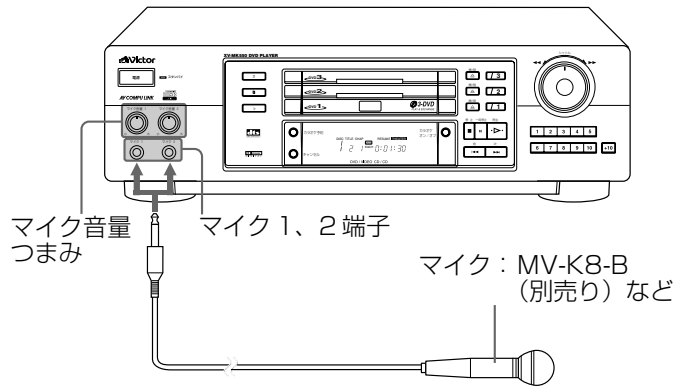
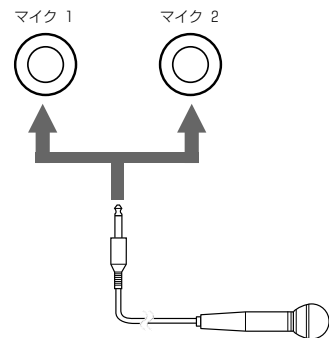
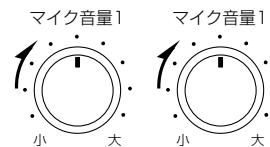
DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

1 **シフトボタンを押したままタイトル／カラオケ オン/オフ〔本体の場合はカラオケオン／オフ〕ボタンを押して本体ディスプレイに KARAOKE を表示させる**

押すごとに「オン」または「オフ」に切り換わります。
「オン」のとき、本体ディスプレイに KARAOKE が表示されます。

〈お知らせ〉

- リニアPCMで収録されているDVDビデオを再生中のときは、カラオケ機能を「オン」にすることができません。
- プログラム再生中およびランダム再生中は、カラオケ機能をオンにすることができません。■停止ボタンを押してから操作してください。
- オーディオCDを選択中(再生中だけでなく停止中も)、マイク1、2端子からの音はデジタル音声出力端子には出力されません。
- カラオケ機能を利用するときは、アナログ音声出力をお使いください。なおデジタル音声出力は、カラオケ機能をオンにするとマイク1、2端子からの音が出なかったり、カラオケの出力レベルが下がったままになります。

マイクを接続する

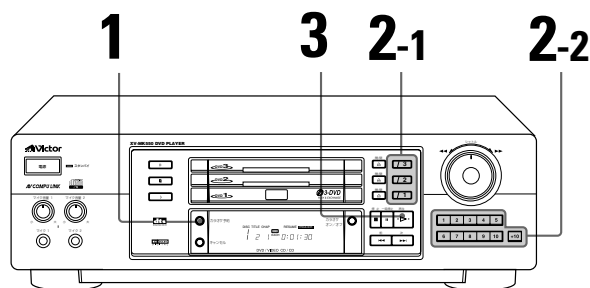
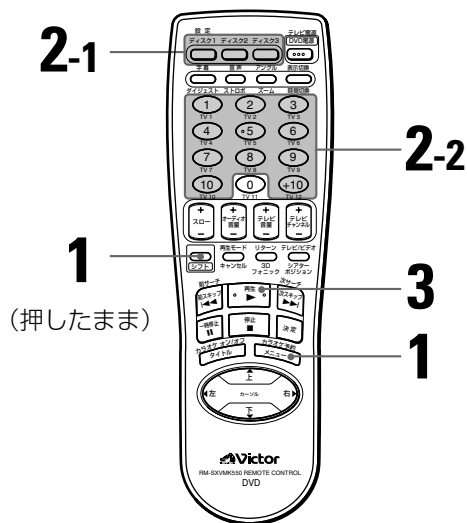
DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

1 **マイクを本体のマイク端子に接続する**

2 **マイク音量を調節する**

- **マイクの音量を調節するには**
  音量を上げるには、マイク音量つまみを右に回します。
  音量を下げるには、マイク音量つまみを左に回します。

〈お知らせ〉

- オーディオCDの入っているトレイを選択中(ディスプレイにそのディスク番号が表示されているとき)は、(再生中、停止中にかかわらず)デジタル音声出力端子からマイクの音は出力されません。

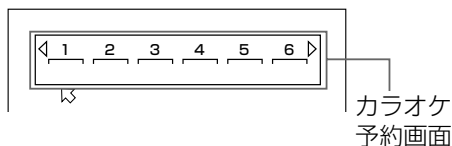
歌いたい曲を予約する

歌いたい曲を歌いたい順番で、再生することができます。停止中にあらかじめ曲を予約しておきます。
最大 12 曲まで予約ができます。DVD カラオケの場合、ディスクを入れるとテレビに予約曲の一覧が表示されます。

歌いたい曲を予約し再生する

■ 停止中、カラオケ機能が「オン」になっているときに

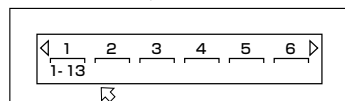
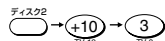
1 **シフトボタンを押したままメニュー／カラオケ予約ボタンを押す〔本体の場合はカラオケ予約ボタンを押す〕**

テレビにカラオケ予約画面が表示されます。

カラオケ
予約画面

すでに曲が予約されていると、本体ディスプレイに "PROGRAM" が表示されます。

2 **ディスクボタン(1～3)と数字ボタン（1～10、+10）を使って予約したいディスク番号と曲の番号を選ぶ**

ディスクボタンを押してからそのディスクに入っている曲の番号を数字ボタンで予約します。

例： トレイ 2 に入っているディスクの 13 曲目を予約するには

選んだ曲が予約されて、↖が次の位置に移動します。
この手順をくり返します。同じ曲を何回も予約すると、その回数だけくり返し再生ができます。

3 **► 再生ボタンを押す**

予約した順に曲が再生されます。

再生中のときは、いったん現在の再生を停止してから、予約した順に再生を行ないます。

再生が終った曲の予約は消去されます。予約した曲の再生をすべて終わると、停止して、本体ディスプレイの "PROGRAM" 表示が消えます。

● **予約曲の確認／追加／取り消しをするには**

・ **確認**

シフトボタンを押したままメニュー／カラオケ予約ボタン(本体の場合はカラオケ予約ボタン)を押してカラオケ予約画面を表示します。

・ **追加**

↖ が最後の曲の次にあることを確認し、ディスクボタンと数字ボタン（1～10、+10）を使って追加予約したい曲を選びます。

・ **割り込み予約**

カーソル(◄/►)ボタンを使って割り込み予約したい順番のところに↖ を合わせ、ディスクボタンと数字ボタン（1 ～ 10、+10）を使って曲の番号を選びます。

・ **取り消し**

カーソル(◄ / ►) ボタンを使ってキャンセルしたい曲に↖ を合わせ、再生モード／キャンセルボタンを押します。

● **カラオケ予約画面を見えなくするには**

シフトボタンを押したままメニュー／カラオケ予約ボタン（本体の場合はカラオケ予約ボタン）を押します。

● **予約した全ての曲を取り消すには**

停止中、カラオケ予約画面が表示されているときに、■停止ボタンを押します。

〈お知らせ〉

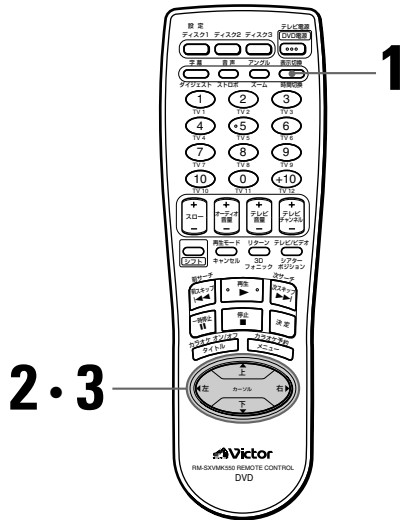
● ビデオ CD の PBC 再生中は曲を予約できません。予約するには最初に ■ 停止ボタンを押してください。
● 予約再生中、オーディオCDのA-Bリピート機能は働きません。
● 曲を予約しないで再生するときは、28 ページの「DVD メニューから選んで再生する」をご覧ください。
● 再生中に左記のカラオケ予約の操作手順**1**～**2**を行なったときは、曲が終わってから ► 再生ボタンを押します。

音声を切り換える

カラオケが収録されているディスクの多くは、カラオケの伴奏に「ガイドボーカル」や「ガイドメロディー」を付けて再生するか付けないで再生するか選択することができます。これらの再生する音声を切り換える方法について説明します。

音声トラックを切り換える[音声トラック]

DVDビデオ

カラオケが収録されているＤＶＤ ビデオの多くは、ガイドボーカル付き、ガイドメロディー付き、純カラオケなど、いくつかの音声を選択できます。音声トラックはDVDに限り切り換えることができます。

■ 再生中、カラオケ機能が「オン」になっているとき

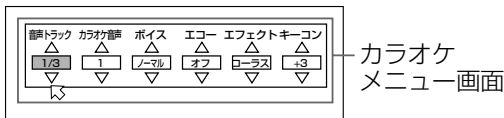
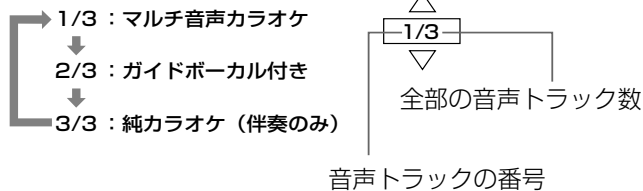
1 **表示切換／時間切換ボタンを押す**

テレビにカラオケメニュー画面が表示されます。

2 **カーソル(◄/►)ボタンを使って[音声トラック]に ⇖ を合わせる**

3 **カーソル(▲/▼)ボタンを使って、聞きたい音声を選ぶ**

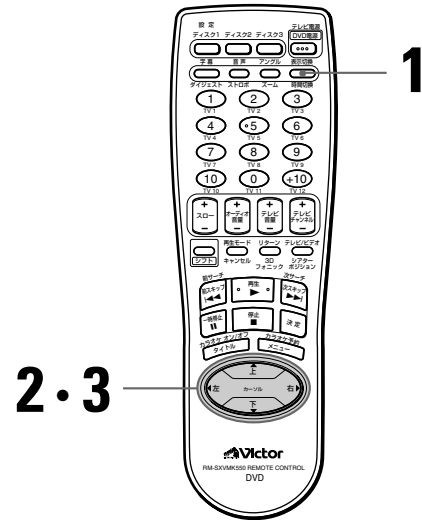
例：DVDビデオの場合

- 1/3 ：マルチ音声カラオケ
- 2/3 ：ガイドボーカル付き
- 3/3 ：純カラオケ（伴奏のみ）

〈お知らせ〉

- **⃠ が表示されたときは**
  ディスクに複数の音声トラックが収録されていません。または、ディスクが機能を無効とする収録方法になっています。
- **カラオケメニュー画面を消すには**
  表示切換／時間切換ボタンを押します。

カラオケの音声を切り換える[カラオケ音声]

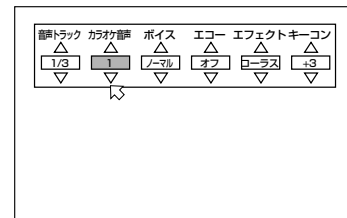
DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

カラオケが収録されているDVDビデオの中には、「マルチ音声カラオケ」で収録されているディスクがあります。このようなディスクは、一人でもデュエットの練習ができるなどより多彩な楽しみかたができます。

■再生中、カラオケ機能が「オン」になっているときに

1 **表示切換／時間切換ボタンを押す**

テレビにカラオケメニュー画面が表示されます。

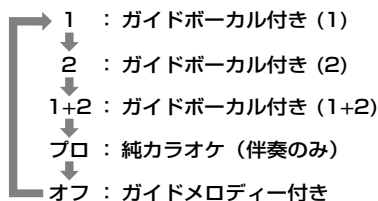
「マルチ音声カラオケ」で収録されているDVDビデオを再生しているときは、[音声トラック]を１ にしておきます。（左欄参照）

2 **カーソル(◄/►)ボタンを使って[カラオケ音声]に ⇖ を合わせる**

3 **カーソル(▲/▼)ボタンを使って、聞きたい音声を選ぶ**

48 ページへ続く

[マルチ音声カラオケで収録されたDVDの場合]

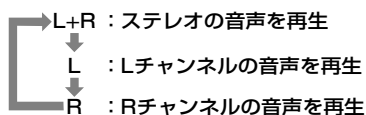
カーソル(▲)ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

1 ：ガイドボーカル付き（1）
↓
2 ：ガイドボーカル付き（2）
↓
1+2 ：ガイドボーカル付き（1+2）
↓
プロ ：純カラオケ（伴奏のみ）
↓
オフ ：ガイドメロディー付き

〔カーソル(▼)ボタンを押すと逆の順に切り換わります〕

デュエットでない曲のときには「2」と「1+2」は表示されません。

[カラオケが収録されたビデオCDやオーディオCDの場合]

カーソル(▲)ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

L+R ：ステレオの音声を再生
↓
L ：Lチャンネルの音声を再生
↓
R ：Rチャンネルの音声を再生

〔カーソル(▼)ボタンを押すと逆の順に切り換わります〕

〈お知らせ〉

- **マルチ音声機能は、その内容がDVDビデオに記録されていなければ、ご使用になれません。**
- ビデオCDの場合、「カラオケ音声」の切換えと音声ボタンによる切換えは同じです。☞41ページ「音声言語や音声チャンネルを選ぶ」
- **カラオケメニュー画面を消すには**
  表示切換／時間切換ボタンを押します。

ディスクに収録された歌声を小さくする[ボイスキャンセル]

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

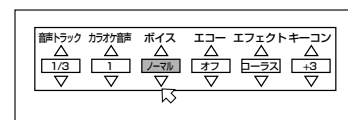
カラオケ用に収録されていないディスクでも、ボイスキャンセル機能を使って、ディスクに収録されている歌声の部分だけ音量を下げることができます。

■再生中、カラオケ機能が「オン」になっているときに

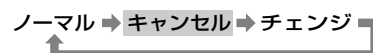
1 **表示切換／時間切換ボタンを押す**

テレビにカラオケメニュー画面が表示されます。

[カラオケ音声]が「L」または「R」の設定になっているときは、正しく動作しません。設定を「L+R」に切り換えてください。（左欄参照）

2 **カーソル(◄/►)ボタンを使って[ボイス]に☞を合わせる**

3 **カーソル(▲/▼)ボタンを使って[キャンセル]を選ぶ**

カーソル(▲)ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ノーマル ➡ キャンセル ➡ チェンジ

〔カーソル(▼)ボタンを押すと逆の順に切り換わります〕

〈お知らせ〉

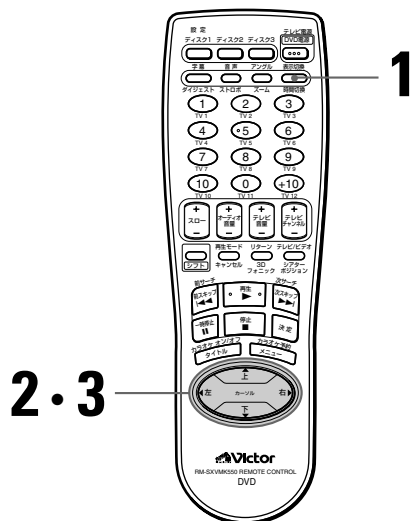
- モノラルで収録されている曲や、デュエットの曲、詩吟など、曲によっては音声の部分の音量が下がりにくいことがあります。
- 音声多重で収録されているディスクや、マルチ音声出力カラオケで収録されているディスクなど、カラオケ用のディスクを再生しているときは、この機能ではなく[カラオケ音声]を利用してください。☞47ページ
- **カラオケメニュー画面を消すには**
  表示切換／時間切換ボタンを押します。

歌えなくなったときだけガイドボーカルを再生する[ボイスチェンジ]

DVDビデオ ビデオCD

新しい曲やメロディーが分からなくなった場合にボイスチェンジ機能を使うと、歌えなくなったときだけガイドボーカルが再生されます。カラオケの練習に便利です。

■ 再生中、カラオケ機能が「オン」になっているときに

1 表示切換／時間切換ボタンを押す

テレビにカラオケメニュー画面が表示されます。

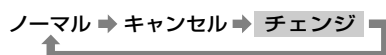
音声多重で収録されているディスクのときは、[カラオケ音声]を音声が再生されるように「L」または「R」に設定してください。

カラオケ用に収録されていないディスクのときは、[カラオケ音声]を「L+R」に設定してください。☞ 48 ページ

2 カーソル(◀/▶)ボタンを使って[ボイス]に⇖を合わせる

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使って[チェンジ]を選ぶ

カーソル(▲)ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ノーマル ➡ キャンセル ➡ チェンジ

〔カーソル(▼)ボタンを押すと逆の順に切り換わります〕

⋮

歌っていないとき（マイクから信号が入力されないとき）だけガイドボーカルが再生されます。

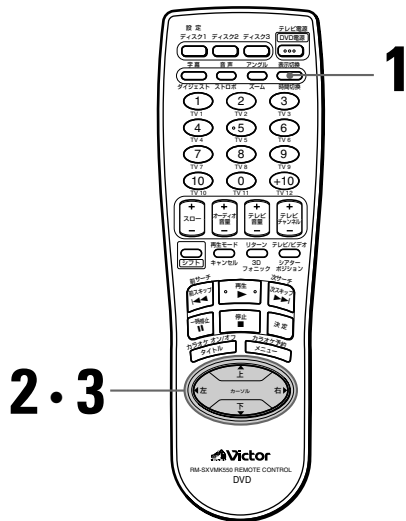
〈お知らせ〉

- 音声多重で収録されているディスク、マルチ音声カラオケで収録されているディスクを再生しているときは、完全にガイドボーカルが再生されなくなります。それ以外の収録によるディスクでは、歌声の部分の音量が下がりにくいことがあります。
- **カラオケメニュー画面を消すには**
  表示切換／時間切換ボタンを押します。

マイクの声に効果を加える

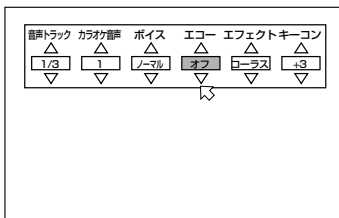
音声にさまざまな効果を加えることができます。エコー機能を使って音声にエコーを加えたり、ボーカルエフェクト機能を使って、歌声を加工することができます。

エコー（音の響き）をかける[エコー]

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

■カラオケ機能が「オン」になっているときに

1 表示切換／時間切換ボタンを押す

テレビにカラオケメニュー画面が表示されます。

2 カーソル(◀/▶)ボタンを使って[エコー]に⇖を合わせる

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使ってエコーレベルを選ぶ

カーソル(▲)ボタンを押すごとに以下のようにエコーレベルが切り換わります。

オフ ➡ 1 ➡ 2 ➡ 3

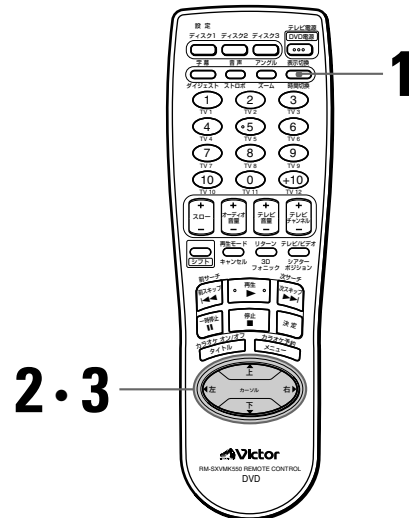
数字が大きいほどエコーが強くなります。

〔カーソル(▼)ボタンを押すと逆の順に切り換わります〕

〈お知らせ〉

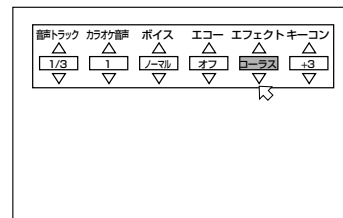
- **カラオケメニュー画面を消すには**
  表示切換／時間切換ボタンを押します。

ボーカルにさまざまな効果を加える[エフェクト]

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD

■カラオケ機能が「オン」になっているときに

1 表示切換／時間切換ボタンを押す

テレビにカラオケメニュー画面が表示されます。

2 カーソル(◀/▶)ボタンを使って[エフェクト]に⇖を合わせる

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使って効果（エフェクト）の種類を選ぶ

カーソル(▲)ボタンを押すごとに以下のように効果（エフェクト）が切り換わります。

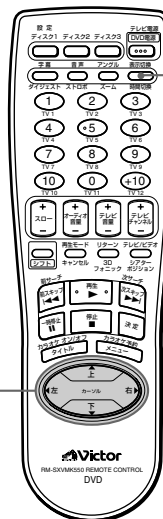
コーラス：同じ音程でもう一人歌っているように聞かせる。
⬇
フランジ：歌っている声がエレキギターのエフェクトをかけたような声になる。
⬇
ハーモニー：歌っている人の声にハーモニーを加える。
⬇
オフ：効果なし

〔カーソル(▼)ボタンを押すと逆の順に切り換わります〕

音程（キー）を変える

再生するときのキー（音程）を変えて、自分の声に合わせることができます。

本体で操作する

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD

■カラオケ機能が「オン」になっているときに

1 キーコントロールボタン（♯、♮、♭）を使ってキー（音程）を上げ下げする

- ♯ボタンを押すごとにキー（音程）が上がります。
- ♭ボタンを押すごとにキー（音程）が下がります。
- ♮ボタンを押すと通常のキー（音程）に戻ります。

本体のディスプレイにキー（音程）の状態が表示されます。

上の例では、音程を１つ下げたことを表示しています。

またテレビ画面にも状態が表示されます。

〈お知らせ〉

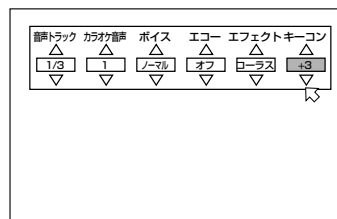
- 再生が１曲終わると自動的に通常のキー（音程）に戻ります。
- オーディオCDではデジタル音声出力端子からの出力信号のキー（音程）は変わりません。

リモコンで操作する

■カラオケ機能が「オン」になっているときに

1 表示切換／時間切換ボタンを押す

テレビにカラオケメニュー画面が表示されます。

2 カーソル(◄/►)ボタンを使って[キーコン]に⇖を合わせる

3 カーソル(▲/▼)ボタンを使ってキー（音程）を上げ下げする

±６段階に変えることができます。

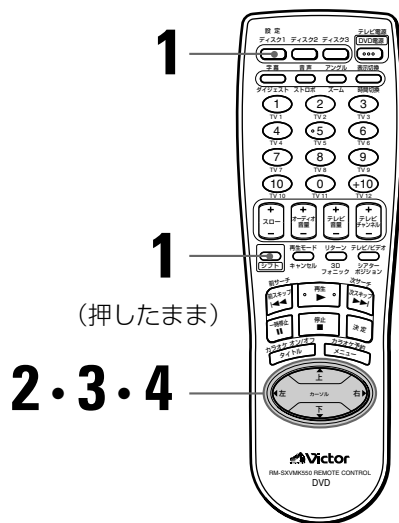
本体のディスプレイにもキー（音程）の状態が表示されます。

〈お知らせ〉

- 再生が１曲終わると自動的に通常のキー（音程）に戻ります。
- オーディオ CD ではデジタル音声出力端子からの出力信号のキー（音程）は変わりません。

初期設定をする

４種類の初期設定画面を使ってさまざまな初期設定をします。

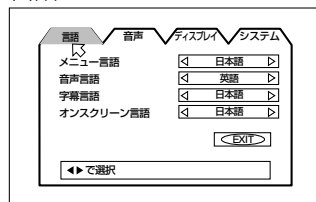
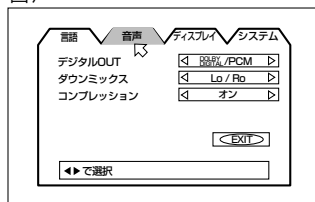
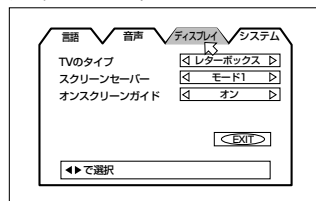
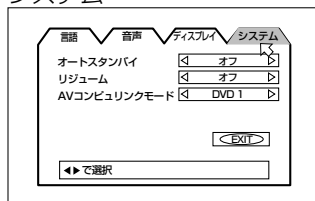
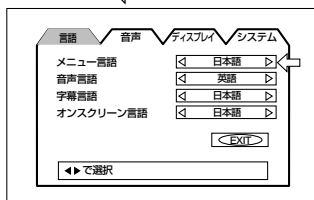
初期設定をするには

■ 選択中のディスクトレイにディスクが入っていないとき、またはDVDビデオかビデオCDが入っていて停止しているとき

1 シフトボタンを押したままディスク１／設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 カーソル（◄/►）ボタンを使って画面を選ぶ

初期設定画面には「言語」、「音声」、「ディスプレイ」、「システム」の４画面があり、画面の上部にあるそれぞれのタグにカーソル (⇖) を合わせることによって画面を切り換えます。

言語

音声

ディスプレイ

システム

3 カーソル（▲/▼）ボタンを使って、設定したい項目に ⇦ を合わせる

4 カーソル（◄/►）ボタンを押して項目の設定をする

・ 通常の画面に戻すにはシフトボタンを押したままディスク１／設定ボタンを押します。
　または ⇦ を[EXIT]に合わせて決定ボタンを押します。
・ それぞれの詳しい設定方法については以下の ❑ 内のページをご参照ください。

「言語」画面

メニュー言語 53
音声言語 53
字幕言語 53
オンスクリーン言語 53

「音声」画面

デジタル OUT 54
ダウンミックス 54
コンプレッション 54

「ディスプレイ」画面

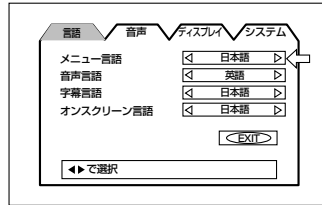
TV のタイプ 55
スクリーンセーバー 55
オンスクリーンガイド 55

「システム」画面

オートスタンバイ 56
リジューム 56
AV コンピュリンクモード 56

「言語」画面

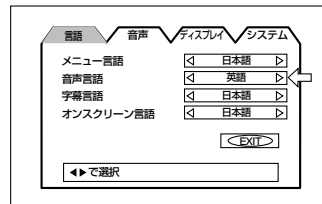
メニュー言語

DVDには複数の言語によるメニュー画面が収録されている場合があります。このようなＤＶＤを再生するときに、最初にどの言語でメニュー表示するか決めておくことができます。

カーソル（▶）ボタンを押すごとに、言語は以下の順で変わります。またカーソル（◀）ボタンを押すごとに、以下とは逆の順で変わります。

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにＡＡ からＺＵ までの言語コード
☞ 65 ページ

※ 選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに収録されているメニュー言語で表示されます。

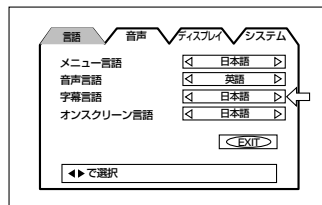
音声言語

DVDには複数の音声言語が収録されているものがあります。このようなDVDを再生するときに、最初にどの音声言語で再生するかを決めておくことができます。

カーソル（▶）ボタンを押すごとに言語は以下の順で変わります。またカーソル（◀）ボタンを押すごとに、以下とは逆の順で変わります。

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにＡＡ からＺＵ までの言語コード
☞ 65 ページ

※ 選択した音声言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに収録されている音声言語で再生されます。

字幕言語

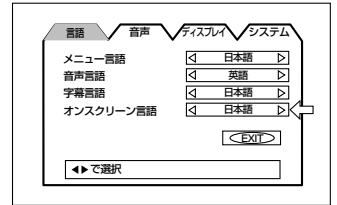
外国映画などのDVDには複数の言語で字幕が収録されているものがあります。このようなDVDを再生するときに、最初にどの言語を表示するか決めておくことができます。

カーソル（▶）ボタンを押すごとに、言語は以下の順で変わります。また カーソル（◀）ボタンを押すごとに、以下とは逆の順で変わります。

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにＡＡ からＺＵ までの言語コード
☞ 65 ページ

※ 選択した言語の字幕がディスクに収録されていないときには、ディスクに収録されている言語で字幕が表示されます。

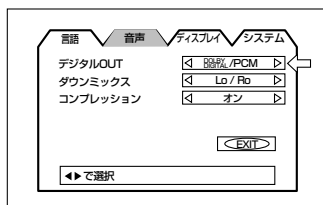
オンスクリーン言語

オンスクリーン画面の言語を切り換えることができます。

カーソル（◀/▶）ボタンを押すごとに日本語または英語に切り換わります。

初期設定をする（つづき）

「音声」画面

デジタル OUT

デジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定を合わせる必要があります。デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要がありません。

- **ストリーム /PCM :**
  DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの３つの機能を備えたアンプまたはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- **DOLBY DIGITAL/PCM :**
  ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- **PCM のみ :**
  リニア PCM のみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダー、DATデッキなどと接続するとき、この設定にします。

ディスクの種類と出力信号の関係は次の表をご覧ください。

再生ディスク	出力		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16ビットPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットのリニアPCM		
48kHz、20/24ビットPCMのDVDビデオ	48kHz、20ビットのリニアPCM		
96kHz、リニアPCMのDVDビデオ	出力しない		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	出力しない	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットのリニアPCM
MPEGのDVDビデオ	MPEGビットストリーム	48kHz、16ビットのリニアPCM	
オーディオCD	44.1kHz、16ビットのリニアPCM		
ビデオCD	44.1kHz、16ビットのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム		

〈お知らせ〉

- ● 本機にはDTS信号のデコード機能がありません。
- ● DTSで収録されたDVDビデオやオーディオCDを再生するときは、DTSデコーダーをお使いください。通常のアンプを使うとノイズによってスピーカーを破損する恐れがあります。
- ● アナログ出力とデジタル出力を同時に接続している場合、アンプの入力選択を正しく行なってください。

ダウンミックス

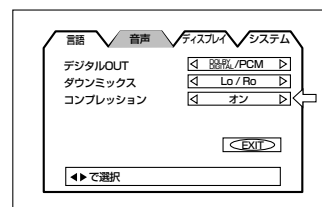
サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオを正しく再生するために、接続する機器に合わせて音声出力端子（アナログ）から出力される信号を切り換えます。この設定は、サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオを再生するときにのみ影響します。

- **Lt/Rt** ： 本機の音声出力をサラウンドデコーダー（または内蔵アンプ）に接続してサラウンドオーディオを楽しむときにこの設定にします。
- **Lo/Ro** ： 本機の音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続してステレオ音声を楽しむときに、この設定にします。また、サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオの音声をMDレコーダーやカセットテープに録音するときにも、この設定にします。

〈お知らせ〉

- ● 3Dフォニック機能が働いているときは、ダウンミックスは機能しません。

コンプレッション

必要に応じてダイナミックレンジ（小さい音と大きい音の音量差）を抑えることができます。

- **オン** ： ダイナミックレンジを抑えて再生します。小音量で映画を楽しみたいときなど、音が聞き取りやすくなります。
- **オフ** ： DVDビデオに収録されている通りのダイナミックレンジで再生されます。

〈お知らせ〉

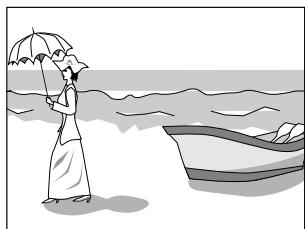
- ● コンプレッション機能は、ドルビーデジタルで収録されたディスクを再生しているときにのみ働きます。
- ● 3Dフォニック機能が働いているときは、コンプレッションは機能しません。

「ディスプレイ」画面

TV のタイプ

DVD ビデオの映画ソフトの多くは、ワイドテレビ（縦横比16:9の横長テレビ）用の映像が収録されています。その映像を通常のテレビ（縦横比4:3）に映すときの変換方式として「パンスキャン」と「レターボックス」の2種類があります。この2種類の変換方式に対応しているディスクを再生するときに、どちらの変換方式で映すかを選択できます。ワイドテレビを接続するときは「ワイド（S1）」を選択します。通常のテレビを接続するときは「パンスキャン」か「レターボックス」を選択します。

・ **パンスキャン**

左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません。通常のテレビ（縦横比4：3）に接続したとき、この設定にします。

・ **レターボックス**

上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ（縦横比4：3）に接続したとき、この設定にします。

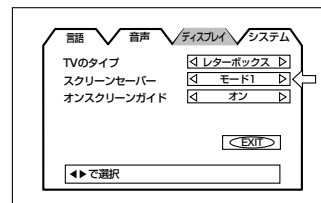
・ **ワイド（S1）**

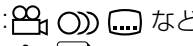
ワイドテレビ（縦横比16：9の横長テレビ）と接続したとき、この設定にします。

ちょっとひと言

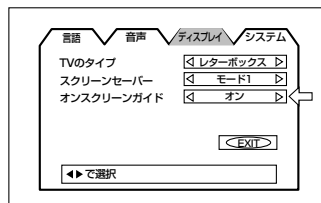
・ディスクがパンスキャンに対応していないときは、「パンスキャン」を選択してもレターボックスになります。

スクリーンセーバー

長い時間、静止画を映していると画面が焼き付きを起こし、静止画の画像が残ってしまうことがあります。これを防止するための機能がスクリーンセーバーです。以下の設定が選択できます。

・ **モード１**：画像が暗くなります。
・ **モード２**：スクリーンセーバー画面が表示され、明るさが変化します。
・ **オフ**　　：スクリーンセーバーは機能しません。

ご注意

● スクリーンセーバーを「オフ」にした場合、モニターの焼き付きには十分ご注意ください。
● オーディオCDのときは、スクリーンセーバーは機能しません。

オンスクリーンガイド

本機には再生している映像に重ねてマークや文字などを表示させる機能があります。表示されたマークや文字によってディスクの収録状態を把握したり、本機の動作状態を把握することができます。またこれらの表示は出さないようにすることもできます。

・ **オン**　：　マークや文字が表示されます。
・ **オフ**　：　マークや文字が表示されません。

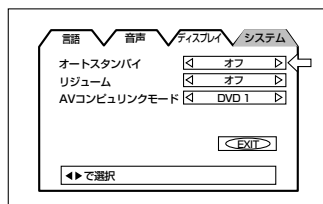
例：など

☞ 16 ページ

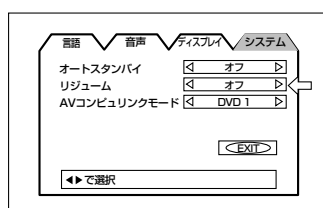
初期設定をする（つづき）

「システム」画面

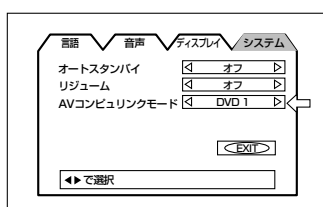
オートスタンバイ

一定時間、本機の停止状態が続いたとき、自動的に本機をスタンバイ状態（電源「切」）にすることができます。

- **60**　：60 分後にスタンバイになります。
- **30**　：30 分後にスタンバイになります。
- **オフ**　：オートスタンバイ機能は働きません。

リジューム

リジューム再生（ ☞ 27 ページ）のオン／オフを選びます。

- **オン**　：停止中、あるいは電源「切（スタンバイ）」のときに▶再生ボタンを押すと、記憶している位置から再生を始めます。
- **オフ**　：停止中、あるいは電源「切（スタンバイ）」のときに▶再生ボタンを押すと、ディスクの頭から再生を始めます。

AV コンピュリンクモード

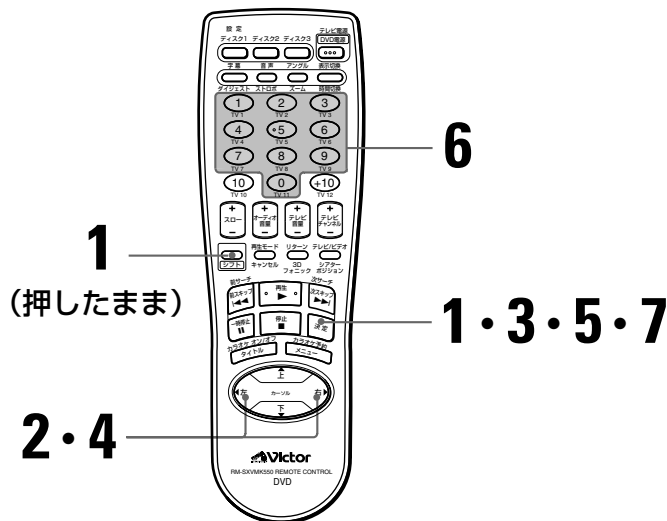
ビクターのテレビやレシーバーなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせてAV コンピュリンクモードを設定します。「DVD1」「DVD2」「DVD3」の中から選択し、設定してください。
☞ 60 ページ

〈お知らせ〉

● AV コンピュリンクコードをつながないときは、設定する必要はありません。

視聴制限を設定する

たとえば過激なシーンを含むDVDビデオ映画ソフトを再生する場合など、パレンタルロック機能の設定に応じて過激シーンをカットしたり別のシーンに差し換えることができます。

はじめに設定する[パレンタルロック]

DVD ビデオ

■ DVD停止中、または選んだトレイにディスクが入っていないときに

1 シフトボタンを押したまま決定ボタンを押す

パレンタルロック画面が表示されます。

⇦が[カントリーコード]を指しています。

2 ⇦が[カントリーコード]を指しているときに、カーソル(◀/▶)ボタンを使ってカントリーコードを選ぶ

カントリーコードは、再生するソフトの原産地に合わせます。

カントリーコード　例：通常はJP (Japan)を選択します。

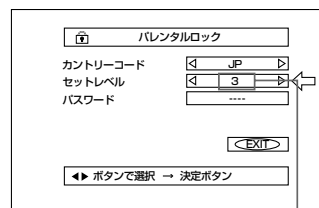
カントリーコード一覧 ☞ 66 ページ

3 決定ボタンを押す

⇦が[セットレベル]に移動します。

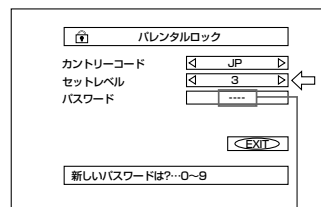
4 ⇦が[セットレベル]を指しているときに、カーソル(◀/▶)ボタンボタンを使ってレベルを選ぶ

「レベル 1」～「レベル 8」の中から選びます。

「レベル—」が視聴制限を全くしない設定です。設定したレベル値以上のレベルのDVDビデオを再生できなくなります。したがってレベル数値が小さいほど、制限が厳しくなります。

レベルの選択

5 決定ボタンを押す

⇦が[パスワード]に移動します。

6 数字ボタン（0～9）を使って任意のパスワード（4ケタの数字）を入力する

パスワードの入力

7 決定ボタンを押す

パレンタルロックのレベルとパスワードが設定されます。

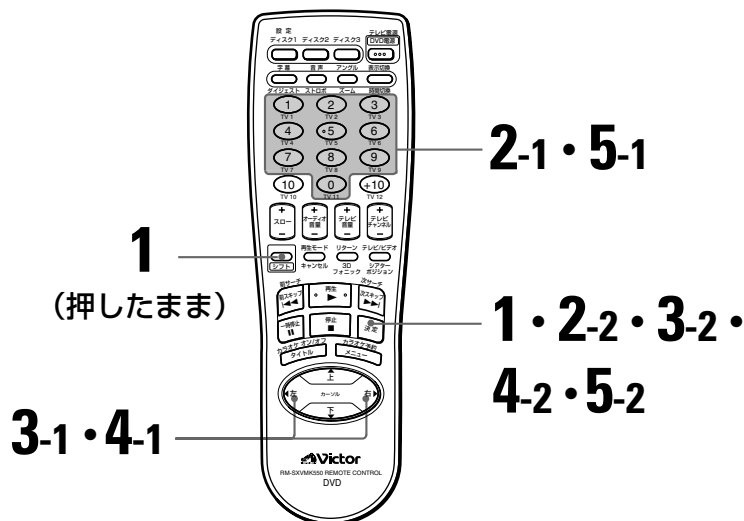
⇦が[EXIT]に移動します。

もう一度決定ボタンを押すと、オープニング画面に戻ります。

・パスワードの数字入力を間違えたときは、決定ボタンを押す前に入力し直します。

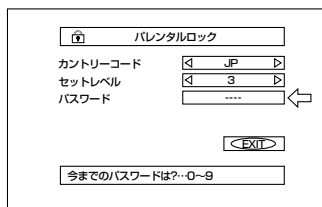
設定を変更する[パレンタルロック]

DVDビデオ

パレンタルロック設定をあとから変更することができます。

■ ディスク停止中、または選んだトレイにディスクが入っていないときに

1 シフトボタンを押したまま決定ボタンを押す

パレンタルロック画面が表示されます。

⇦が[パスワード]を指しています。

2 数字ボタン(0 ～ 9)を使って現在のパスワードを入力し、決定ボタンを押す

正しいパスワードを入力すると⇦が[カントリーコード]に移動します。

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されます。

3 カントリーコードを変更するには、カーソル(◄/►)ボタンを使って設定を変更し、決定ボタンを押す

レベルの選択

⇦が[セットレベル]に移動します。

カントリーコードを変更した場合、セットレベルも設定し直してください。

4 セットレベルを変更するには、⇦が[セットレベル]を指しているときにカーソル(◄/►)ボタンを使って設定を変更し、決定ボタンを押す

レベルの選択

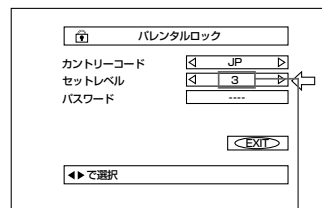
⇦が[パスワード]に移動します。

5 数字ボタン(0 ～ 9)を使ってパスワードを入力し、決定ボタンを押す

⇦が[EXIT]に移動します。

ここで入力したパスワードが新しいパスワードになります。パスワードを変更したくない場合は同じパスワードを入力してください。

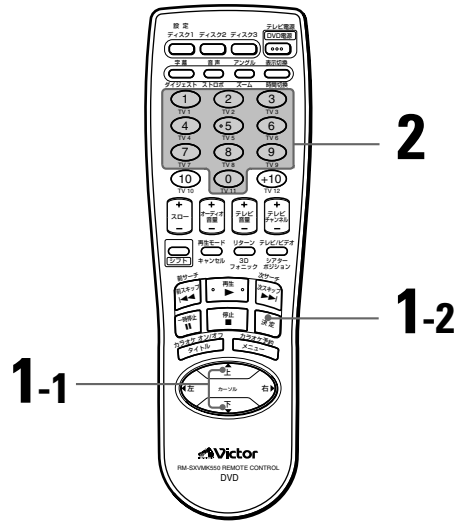
カントリーコードやセットレベルを変更する場合も、必ずこの操作(パスワード入力→決定ボタン)を行なってください。この操作をやらないと、カントリーコードやセットレベルが変更されません。

もう一度決定ボタンを押すと、オープニング画面に戻ります。

〈お知らせ〉

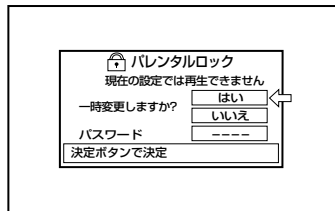
- 手順 2 で、設定されているパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力します。
- 手順 2 でパスワードの入力を 3 回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき⇦が[EXIT]に移動しますので、決定ボタンを押してオープニング画面に戻ってください。

設定を一時解除する[パレンタルロック]

DVD ビデオ

パレンタルロックの視聴制限を厳しく設定しているときには、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックの視聴制限を一時的に解除するかどうかを選ぶ画面が表示されます。

1 カーソル(▲/▼)ボタンを使って「はい」に ⇦ を合わせ、決定ボタンを押す

「はい」を選ぶと、⇦ が［パスワード］に移動します。

「いいえ」を選んだときは、本体の ⏏OPEN /CLOSE (開 / 閉) ボタンを押してディスクを取り出します。

2 設定されているパスワードを数字ボタン (0～9)を使って入力する

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されます。

正しいパスワードを入力してください。

パレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

〈お知らせ〉

- パスワードの入力を３回間違えると、⇦ は［いいえ］に移動し、カーソル(▲/▼)ボタンは働かなくなります。

AV コンピュリンクの活用

テレビ、ビデオカセットレコーダー、DVD プレーヤー、レシーバーなどいくつかの機器をつないで、再生するための接続をしても、操作はそれぞれ別々に行なわなければならない煩わしさがあります。一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものが AV コンピュリンク機能です。

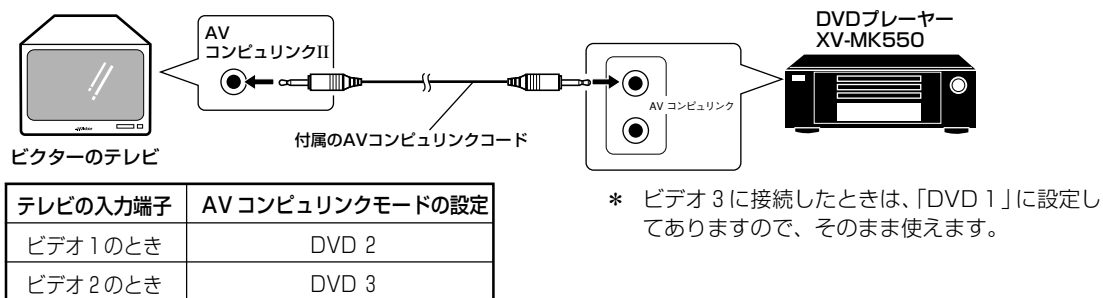
接続と設定をする

AV コンピュリンクコードを使用し、各機器の AV コンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPU LINK 端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。

AV コンピュリンクコードがない場合は、モノラルミニプラグ付き接続コード:CN-120A をお買い求めのうえご使用ください。

■テレビとの AV コンピュリンク接続

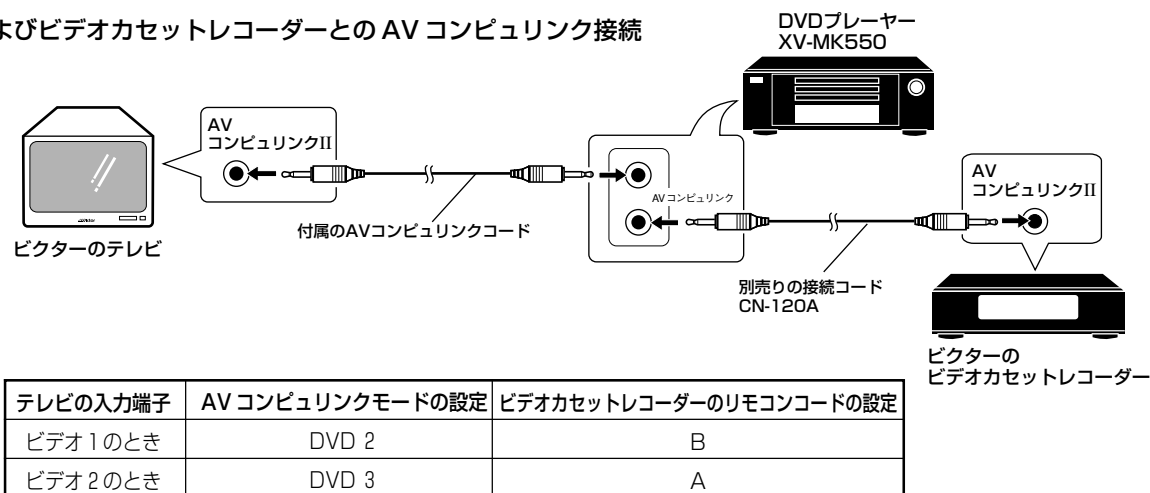
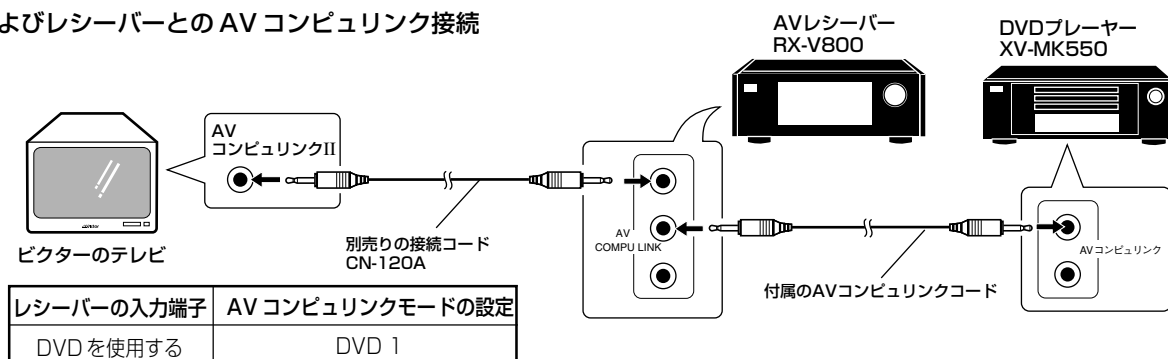
テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
ビデオ 1 のとき	DVD 2
ビデオ 2 のとき	DVD 3

＊ ビデオ 3 に接続したときは、「DVD 1」に設定してありますので、そのまま使えます。

■テレビおよびビデオカセットレコーダーとの AV コンピュリンク接続

テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定	ビデオカセットレコーダーのリモコンコードの設定
ビデオ 1 のとき	DVD 2	B
ビデオ 2 のとき	DVD 3	A

＊ ビデオ 3 に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。リモコンコードの設定は「A」にします。

■テレビおよびレシーバーとの AV コンピュリンク接続

レシーバーの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
DVD を使用する	DVD 1

ご注意

- DVD 以外の音声入力端子に、DVD の音声出力を接続すると正しく動作しません。
- DVD プレーヤーのコンポーネント映像出力をテレビに接続する場合、
  - ・DVD プレーヤーの AV コンピュリンクモードを「DVD1」に設定します。
  - ・DVD プレーヤーの出力とレシーバーの DVD 入力の間を付属のオーディオ／ビデオコードで接続します。S ビデオコードは接続しないでください。

- AV コンピュリンクモードの設定（DVD1 ～ DVD3）の切り換えは、「初期設定」（☞ 56 ページ）で操作します。

操作をする

ソース機器（DVDプレーヤーやビデオカセットレコーダーなどの再生する機器のことをいいます）を再生するだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやレシーバーの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

1 テレビの主電源スイッチを「入」にする

2 ソース機器にディスクまたはカセットを入れる

3 ソース機器の再生ボタンを押す

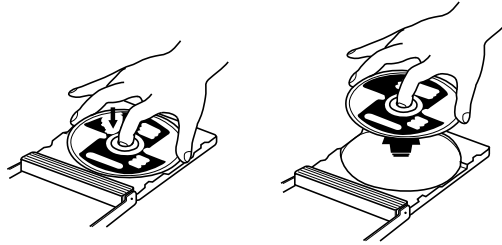
次の動作が自動的に行なわれます。

・ テレビの電源が「入」になります。
・ テレビの入力が外部入力（ビデオ 1、ビデオ 2、またはビデオ 3）に切り換わります。
・ レシーバーの電源が「入」になります。
・ レシーバーのソース（音源）が再生ボタンを押した機器に切り換わります。

ディスクの取り扱い

取り扱い時の注意

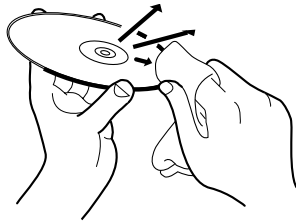
ディスクを取り扱う際、以下のようなことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

・ ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。
・ ディスクに傷をつけないでください。
・ ディスクの信号面（鏡面）を汚したり、ラベル面に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
・ ディスクを反らせないでください。

ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

・ 直射日光の当たるところ
・ 湿気やほこりの多いところ
・ 暖房器のそばや車の中など

ディスクのクリーニング

・ ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。
・ レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、 ディスクのクリーニングには使用しないでください。

故障かな?と思う前に

故障かな？と思ったら、修理に出す前に以下の点検をしてください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電源コードがコンセントから抜けている。	電源プラグをしっかりと差し込む。
リモコンが働かない。	本体と離れすぎている。 本体のほうに向けていない。	リモコン受光部に向けて約5m以内で障害物を避けて送信する。
	電池が消耗している。	電池を交換する。
	電池の極性（＋/－）が違う。	電池を正しく入れ直す。
	リモコン受光部に日光が直接当たっている。	直射日光をさえぎる。
映像が出ない。	ビデオコードを正しく接続していない。 テレビの入力選択が間違っている。	正しく接続する。☞ 19、20、21 ページ 正しい選択を行う。
音が出ない。	オーディオコードを正しく接続していない。	正しく接続する。 ☞ 19、20、21 ページ
	アンプの入力選択 / 操作が間違っている。	正しい選択 / 操作を行う。
96kHz、リニアPCMオーディオで記録されたDVDディスクを再生すると音が出ない。	本機のオーディオ出力としてデジタル音声出力端子を使っている。	このタイプのDVDディスク再生時は音声出力端子を使う（デジタル音声出力端子からはオーディオが出力されない）。
再生できない。	NTSC方式以外のディスクが入っている。 本機とディスクのリージョン番号(ローカル番号)が異なっている。	ディスクを取り換える。 再生できるディスクは、「ディスクの予備知識（☞ 17 ページ)」をご覧ください。
映像が乱れる / 音声がひずむ。	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングする。
	本機とテレビの間にビデオカセットレコーダーを接続している。	本機とテレビを直接接続する。
映像の端が欠けている。	「TVのタイプ」の初期設定が間違っている。☞ 55 ページ	「TVのタイプ」の初期設定を正しくする。
	テレビの設定が間違っている。	テレビの設定を正しく合わせる。
正しく動作しない。	雷や電子ノイズでマイコンが誤動作している。	いったん電源を切り、電源コードを接続し直す。
	暖房を始めた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって製品内部に水滴がついている。	いったん電源を切り、数時間してから電源を入れ直す。

以上の項目に当てはまらないときは、本機以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。なお、以上の項目をチェックしても直らないときは、「保証とアフターサービス」（☞ 68 ページ）の項をお読みの上、修理を依頼してください。

別売りアクセサリー

- 接続コード : CN-120A (モノラルミニプラグ)
- オーディオ / ビデオコード : VX-35G (モノラル音声テレビとの接続用)
  : VX-315E (モノラル音声テレビとの接続用)
- オーディオコード : CN-510E
- 光デジタルケーブル : XN-110SA
- 電源コード : CN-325A
- コンポーネントビデオコード : VX-D115E
- BNCプラグ変換アダプター : VZ-90
- マイクロホン : MV-K8-B

- **別売りアクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。**

主な仕様

一般

再生可能ディスク	DVD ビデオ、ビデオ CD、オーディオ CD
映像信号方式	EIAJ 標準、NTSC カラーテレビジョン方式
電源	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	電源入時 17 W (電気用品取締法基準) 切（スタンバイ）時 2.8 W
質量	4.6 kg
外形寸法	(幅) 435 mm × (高さ) 126.5 mm × (奥行) 324.6 mm

ビデオ出力

映像（コンポジット）	1.0 V(p-p) / 75 Ω
S1 映像	Y 出力 ：1.0 V(p-p) / 75 Ω C 出力 ：0.286 V(p-p) / 75 Ω
映像（コンポーネント）	Y 出力 ：1.0 V(p-p) / 75 Ω CB/CR 出力 ：0.7 V(p-p) / 75 Ω
水平解像度	500 本以上
S/N 比	65 dB 以上

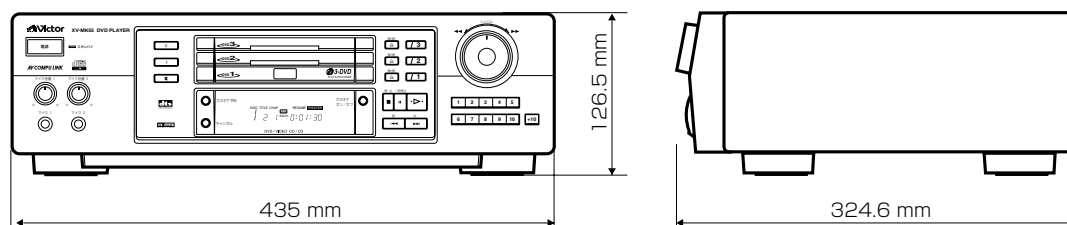
オーディオ出力

アナログ音声出力 （ピンジャック）	アッテネーター「切」2.0 Vrms / 10 k Ω アッテネーター「入」1.0 Vrms / 10 k Ω
デジタル音声出力	光 ： －21dBm～－15 dBm (ピーク) COAXIAL（同軸）： 0.5V(p-p) / 75 Ω

オーディオ入力

マイク 1/ マイク 2 入力	2 mVrms / 8.2 k Ω

オーディオ特性

周波数特性	CD (サンプリング周波数 44.1 kHz) ：2 Hz～20 kHz DVD (サンプリング周波数 48 kHz) ：2 Hz～22 kHz DVD (サンプリング周波数 96 kHz) ：2 Hz～44 kHz
ダイナミックレンジ	16 bit ：98 dB 以上 20 bit/24 bit ：106 dB 以上 (EIAJ)
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.002% W.PEAK）以下 (EIAJ)
全高調波ひずみ率	0.002% 以下 (EIAJ)

・ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
・ EIAJ は、日本電子機械工業会規格の測定法による数値です。

言語コード一覧

字幕や音声の言語は、言語コードで表示されることがあります。表示された言語コードから言語名を知ることができます。以下に言語コードと言語名の対応表を示します。

AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語

IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア 語
KN	カンナダ語
KO	韓国（朝鮮）語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ（マレー）語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	（アフォン）オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ - ロマン語

RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア 語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

カントリーコード一覧

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧表です。

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d’Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile

CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea

GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People’s Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People’s Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia

LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama

PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand

TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、**「ビクターサービス窓口案内」**（69ページ）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

63ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	DVDプレーヤー
型名	XV-MK550
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ビクターサービス窓口案内 （ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	苫小牧 S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	041-0001	函館市五稜郭町4-16函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松 S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越 S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋 S.C	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮 S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸 S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津 S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3グレイスビル1F
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越 S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀 S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1ー3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜 S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡 S.C.	(092)-431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S	(0942)-39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀 S.S.	(095)226-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S	(0982)35-7707	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

（平成12年8月現在）

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

用語解説

記号

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ／ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式（PAL あるいは SECAM）を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

DTS (Digital Theater System)
新しいサラウンド方式で､チャンネル数はドルビーデジタルと同じ5.1チャンネルです。音声圧縮率を低くしたフォーマットであるため、音に厚みのある高S／N感の再生が可能です。

あ

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの横：縦の比は４：3、ワイドテレビおよびHDテレビの横：縦は16：９の比率をもっています。

エンコード
信号を、ある規則に合わせて符号化することをいいます。

オーサリング
各種素材のエンコード作業や､そのエンコード後のデータおよび再生手順などの各種コントロール情報等を、DVD ビデオフォーマットに定められたデータ形式に変換する作業のことをいいます。

か

カーソル
一般的には数字などの挿入ポイントのことをいいます。

片面ディスク
DVD ディスクのうち、信号読み出し面が片面のみのものをいいます。片面１層と片面２層があります。

コンポジット
輝度信号と色信号を周波数多重技術で複合した映像信号と､色の基準となるバースト信号､同期信号を組み合わせた複合映像信号のことです。

コンポーネント
光の３原色からなる映像信号を再現するために必要な情報の一部を、各々別の信号線で伝送するビデオ信号方式。G/B/R やY/CB/CR などの信号形式があります。

さ

再生可能地域管理（リージョンコード）
あらかじめ設定された地域についてのみ、DVD ビデオの再生を可能とするシステムのことです。世界各国を８つの地域に分け、これに各地域番号（リージョンNO.）をつけ識別します。ディスクに設定された再生可能地域番号の中に、DVD ビデオプレーヤーに付与された地域番号と合致する番号があれば､プレーヤーはこのディスクを再生できます。

サラウンド
視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し､臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数
アナログ信号からデジタル信号に変換する際の標本化周波数のこと。１秒間に何回の割合で、もとのアナログ信号を標本化し、デジタル信号に変換するかを数値で表したもの。

色差信号
G/B/Rのそれぞれの信号から輝度信号（Y信号）を引いた信号で、色相と色の濃さを表す信号をいいます。

スクイーズ映像
16：９映像データを横方向にのみ一様に縮めて（スクイーズ）4：３画像データサイズにし、ディスクに記録する方法をいいます。これをテレビやモニター側で左右を伸長して本来の正しい比率に戻します。

た

タイトル
DVD ビデオの構成単位。一般に DVD ビデオはいくつかの「タイトル」で構成され、各タイトル内には複数のチャプターがあります。[☞ 18 ページ]

ダウンミックス
サラウンド方式（3チャンネル以上）で記録されたマルチチャンネル音声トラックを､ステレオ2チャンネル音声に変換して再生する機能をいいます。一般には、プログラムチャンネル数よりも、スピーカーの数が少ないときに行なわれるミキシングのことです。

チャプター
DVD ビデオディスクのタイトル内を区切った単位です。[☞ 18 ページ]

デコード
ある規則に合わせて符号化（エンコード）された信号を、もとの原信号に戻す操作をいいます。

転送レート
１秒間に送りだすデジタルデータのデータ量のことで、MPEG-2の圧縮には可変転送レート方式を採用しています。

ドルビーデジタル
家庭用デジタルサラウンド方式として開発されたドルビーデジタル（AC-3）方式のことをいいます。最大フロント３チャンネル、リア2チャンネルおよびサブウーハー0.1チャンネルで構成される5.1チャンネルが特長です。

は

パレンタルコントロール機能
DVDビデオの映像および音声の内容が視聴者に対して適切なものかどうか（たとえば教育上好ましくないシーン等に対して）を、あらかじめソフトに設定されたパレンタルレベルと､プレーヤーに視聴者が設定した再生可能パレンタルレベルの上限とを照らし合わせ、プレーヤーが自動的に判断し再生する機能。

ビットストリーム
各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータが時間軸に沿って並べられた流れ。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号｡PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面を使って､対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

ま

マルチアングル
DVDビデオ機能の1つで､一つのタイトルの中に､同一時間で進行する複数の場面を収録し､これをユーザーの操作により切り換えて視聴できるようにした機能。

マルチストーリー
一つのタイトルに複数のストーリー展開を持たせた構成｡あらかじめメニューなどでストーリーの選択を行なったり､分岐点ごとに設けられたタイトル内のメニューで分岐先を次々に選ぶなどの方法で再生する構成が一般的です。

マルチチャンネル
DVD ビデオでは、一本の音声トラックで一つの音場を構成するように定められていますが､このうち3つ以上のチャンネルをもった音声トラックの構成をいいます。

マルチランゲージ
一つのタイトルが複数の言語に対応して制作されていることを一般的にマルチランゲージといいます。

メニュー
DVD ビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ら

リニア PCM 音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで､変換に際して圧縮を全くしない方式。

両面ディスク
DVDディスクのうち､信号読み出し面が両側のもの。反対の面を再生するには、ディスクを裏返す必要があります。

レターボックス
4:3テレビに映画などの横長の画像を欠けることなく映し出すために画面の上下に黒などの帯を付け､画面中央部にこの横長画像を映し出す手法。画面が文字通り郵便受けに似ていることから名付けられたものです。

用語索引

ボタンについては、10～13ページの「各部の名前」をご覧ください。